

2009年5月29日

会員各位

記録管理学会
会長 小谷 允志

謹啓 会員の皆様にはますますご清祥のこととお悦び申し上げます

さて、記録管理学会は先ごろ設立 20 周年を迎えました。これを記念し、本年度研究大会に合わせてこの間の歩みのデータを取りまとめた記念誌『続・データは語る ―記録管理学会二十周年記念誌―』を発行しましたので、お届けします。

2000年3月刊行の『データは語る ―記録管理学会 10 周年記念誌―』同様、長く手元に置いて、お役立てください。

草々

続・データは語る

—記録管理学会二十周年記念誌—

2009年5月

編集・発行

記録管理学会

1989年3月18日

Page 1 of 1

記録管理学会 設立趣意書

記録することによって情報と知識を伝承することが出来るようになったとき、人類は他の脊椎動物と明確に異なる道を歩み始めました。文字および紙の発明はそれぞれ記録の精度と流通を高めて情報と知識が時間と空間を超えて伝承する方法を拡大し、グーテンベルク革命はその流れを急激に加速して人類による過去・現在・未来の対話を増大させました。そして、情報技術革命により大量の積報と知識が多様な媒体に記録されているいま、記録の重要性を認識し効果的に管理して新たな情報と知識を創造し人類の記憶の宝庫の豊かな伝承をはかり、これによって社会の進歩と発展に貢献する必要性が高まっています。

記録管理は記録を作成または収集し、加工・蓄積・組織化し、検索方法を整備して活用に供し、最終処置（破棄または永久保管）するという記録のライフサイクルを対象として統合的な管理をはかります。これらの対象となる記録には組織のエネルギーが込められており、組織知能の基盤となって明日への情報と知識を創造する可能性を抱えています。記録管理の適切な運用により、仕事の効率向上や対費用効果の増大に加えて、未来への夢を紡ぐ道を開くことができるのです。

ところが、その道を開くために社会の関心呼び起こし、人々を刺激して記録管理（Records Management）を推進する団体が日本には存在しません。外国を見ると、国際組織として IRMC（International Records Management Council）があります。環太平洋には、ARMA（Association of Records Managers and Administrators）と ICRM（Institute of Certified Records Managers）がアメリカに、RMAA（Records Management Association of Australia¹）がオーストラリアに、PRMA（Philippine Records Management Association）がフィリピンにあります。また、ヨーロッパやアフリカの諸国も団体を持っています。日本においても、理論的・実践的に記録管理の展開をはかり、かつ国際的交流の窓口ともなり得る団体を設立する機が熟しています。

記録管理学会は、記録の重要性を認識し、記録に関し人間がどのような行動を選択するかということを科学的に解明し実践的要請への対応をはかるという目的を有します。そして、これらを具現するため（1）機関誌を発行し、（2）研究発表会、講演会、見学会などを開催し、（3）関連学協会と連絡・協カシ、（4）記録管理者を教育・養成し、（5）研究・調査を実施し、（6）会員相互の情報交換をさかんにし、（7）そのほか、本学会の目的を達成するために必要な事業を行います。

¹ 現在は Records Management Association of Australasia

発刊のご挨拶

記録管理学会

会長 小谷 允志

記録管理学会は2009年3月で記念すべき創立20周年を迎えました。20年といえば人間であれば成人式を迎える区切りの時であり、会員の皆様及び学会活動を支援頂いた関係者の方々に対し、心よりお礼を申し上げたいと思います。学会として本当に一人前になったかどうかということになると、まだまだ十分とはいえません。1989年の創立以来、初代会長の安澤秀一先生、2代目の高山正也先生、3代目の壺阪龍哉先生という立派な先人達の打ちたてた基盤と伝統をより以上に発展させ得たかどうかを考えると、4代目会長の私としては、まことに忸怩たるものがございます。しかしながら、ほぼ創立時からのメンバーの一人として振り返って見ますと、日本の記録管理の環境もここ数年大きく変化してきたことが読み取れます。

その代表的な例が、国の公文書管理法制定の動きです。当学会の20周年という記念すべき年に、この画期的な法律が成立するとすれば、これほど喜ばしいことはございません。というのもこの法案は公文書管理の基本ルールを統一的・包括的に定めたわが国初の法律となるわけで、われわれ記録管理関係者の長年の夢が実現する第一歩となるからです。また公文書管理の目的に説明責任を取り入れたこと、現用文書と非現用のアーカイブズを一元管理する考えを取り入れたことなど、評価すべき点が多々含まれています。われわれ学会としても、2006年8月、プロジェクト活動の一つとして「文書管理法制定のための記録管理学会提言」を発表するとともに、このテーマに関連した識者の講演会をシリーズで開催してきました。これらの学会活動はいささかなりとも国の動きを促進することに貢献できたのではないかと自負する所であります。その他、民間分野においても日本版SOX法といわれる金融商品取引法の施行など記録管理に大きく関係する法律が少なからず制定されております。そのことは官民を問わず、新しい記録管理の課題が数多く登場していることを意味しており、われわれ学会の研究活動の対象が広がっているわけです。

このような背景の中で、学会の20年の歩みをデータベース化した記念誌を発行できますことを喜びたいと思います。今後の会員の研究・実践活動に、また多くの記録管理関係者の皆様のお役に立てることを心より願っている次第でございます。

2009年5月29日

記録管理学会設立二十周年祝辞

衆議院議員（元公文書管理担当大臣）

上川 陽子

記録管理学会設立 20 周年記念研究大会に当たり、一言、お祝いの言葉を申し上げます。

貴学会が、平成元年 3 月に設立されて以来、「記録の重要性を認識し、記録に関し人間がどのような行動を選択するかということを科学的に解明し実践的要請への対応をはかる」という崇高な目的に基づき、研究発表会・講演会などの開催、記録管理者への教育やその養成、研究・調査の実施など、記録管理に関する幅広い活動を積極的に行い、設立 20 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます

現在、国会では、公文書管理法案（正式名称：「公文書等の管理に関する法律案」）が審議されております。

この法律は、作成から利用までのライフサイクルを通じた公文書管理法制の確立し、公文書管理体制を充実強化することにより、国民の期待に応え得る公文書管理システムが構築を図るものであり、日本の公文書管理の新たな一歩を踏み出すものと考えております。

これも貴学会が設立以来、その制定の推進に関して幅広い活動を行い、御努力を重ねられたことが大きな力となり、国の公文書管理の在り方を見直す、原動力の一つとなったものであり、敬意を表する次第です。

また、私が初代公文書管理担当大臣として開催していた「公文書管理の在り方等に関する有識者会議」において、小谷允志会長、小川千代子副会長を始め貴学会の多くの会員の方々に、熱心に議論を見守っていただくともに、中間報告について大変有意義な御意見をいただいたことについて、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

今後とも、貴学会が記録管理に関する研究や情報を発信するなどの活動を進めていただき、世界に誇れるような記録管理が日本で行われるよう、御尽力いただきたいと思います。

最後になりましたが、貴学会のますますの御発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成 21 年 5 月 29 日

祝 辞

独立行政法人 国立公文書館

館長 菊池光興

記録管理学会が設立 20 周年を迎えられるに当たり、一言、お祝いの言葉を申し上げます。

貴学会は、「記録の重要性を認識し、記録に関し人間がどのような行動を選択するかということを科学的に解明し実践的要請への対応をはかる」という設立趣旨のもとに、平成元年の発足以来、数多くの研究会やセミナー等の行事を開催してこられました。今日、記録管理 (Records Management) に対する社会的な関心は、かつてないほど高まっています。これも貴学会の 20 年間にわたる活動の積み重ねが大きな成果となって現れたものであり、皆様の御尽力に対し、心から敬意を表する次第であります。

我が国立公文書館は、昭和 46 年に設置され、国の重要な歴史公文書等の適切な保存・利用を図るという責務を担ってまいりましたが、平成 13 年には行政改革の一環として独立行政法人に体制を改め、新たなスタートを切りました。その後、情報公開法や個人情報保護法の施行、電子政府の推進や電子文書の急増、また、行政機関の不適切な文書管理に端を発する様々な問題が提起されてまいりました。このような大きな社会的変化を背景に、福田康夫内閣において公文書管理担当大臣が設けられ、強力な指導性のもとに多角的な検討が重ねられた結果、本年 3 月に「公文書等の管理に関する法律案」が国会に提出されるに至りました。この法律の制定に向けて、貴学会は、平成 17 年には早くも文書管理法制定推進プロジェクト発足宣言を発出されるなど、終始積極的に取り組んでこられました。

今日、日本の公文書館と行政を取り巻く情勢は、大きく進展を遂げている最中ではありますが、今後、記録管理に対する社会的認識とその実践をさらに深めていく上で、貴学会や当館が果たすべき責務は、これまでも増して一層重要性を増すものと考えます。

これまでも貴学会と当館は、アーカイブズ関係機関協議会を通じて「国際アーカイブズの日」記念講演会を共に開催するなど協力の度を深めています。今後、貴学会の存在はより重要になるものと考えられます。当館としても、貴学会が 20 年にわたり、育んでこられた会員相互のつながり、記録管理に対する真摯な取組などを大いに評価し、その実践の発揮を大いに期待しているところであります。

最後に、発足 20 周年という節目に当たり、貴学会におかれましても、決意を新たにして、一層尽力されますことを改めて祈念して、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

会長 秋 池 武

福田前総理が取り組んでこられた公文書管理制度の改革がまさに大きな成果となって目前にある今日、記録管理学会が20周年を迎えられたということが同じ記録の保存利用の重要性を訴えてきた同僚機関としてまことに慶賀に耐えません。

記録管理学会では、記録の重要性を認識し、記録に関し人間がどのような行動をするかということを科学的に解明し実践的要請への対応を図るという大きな目的を掲げられ、機関誌を発行し、各種講演会や研究会など活発な活動を実施され、記録管理をあらゆる場面から取り上げた理論的また先導的な研究により実務に影響を与える先駆的な成果を挙げて来られました。

また ARMA や ICA などに参加され、国際的な活動にも取り組んで来られ、国際基準などをいち早く国内に解りやすく紹介することにも熱心に取り組んで来られました。

記録管理学会は、目的とするところが重なり合うところが多いわれわれ全国歴史資料保存利用機関連絡協議会にとりましても、記録管理の適正化や記録資料の保存利用の振興のためにも歩む力強い味方でその理論的な業績には啓発されることが多く頼もしく感じてまいりました。

公文書管理制度が大きく前進しようとしている歴史的な転換のときに記録管理学会が設立20周年を迎えられ、これを機に今後ますます発展されますことを期待するとともに、会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念いたします。

記録管理学会設立 20 周年への祝辞

企業史料協議会会長

歌田 勝弘

記録管理学会がこのたび設立 20 周年を迎えられ、記念すべき研究大会を盛況のうちに開催されることを心からお喜び申し上げます。なによりも記録管理学会の活動に絶え間なく積極的に取り組んでこられた関係者の皆様に深く敬意を表します。

記録管理学会発足のころ、わが国は経済的には世界に誇れる成功を収めておりましたが、記録や歴史資料の保存管理に関して、その重要性の認識は必ずしも高いとはいえない環境にありました。記録管理学会は、その設立趣意書のとおり、記録の重要性を認識し、実践的要請へ結びつけるために、発足以来、継続して文書管理法制定に向けての努力を重ねてこられたことは、関係者の高く評価するところであります。本年はそれらの成果の第一歩である「公文書管理法」成立も期待でき、二重の喜びと申せましょう。

さらに記録管理学会の活動は、公文書管理の面だけでなく、私たち企業史料にかかわる分野に対しても大きな貢献をされております。企業における記録管理の重要性や標準化のための啓蒙、ビジネスアーキビスト教育や中国档案学会との交流においても、私たちは積極的な協力をいただいております。記録管理学会からいただいたこれまでの支援に対して、感謝申し上げますとともに今後とも積極的な連携をお願いしたいと思います。

近年は社会環境の急速な変化のなかにあつて、デジタル資料を含む日々発生する膨大な記録から、歴史資料として評価の確立したものまで、官民ともに一貫した記録の保存管理および公開利用のための体制の確立が喫緊の課題となっています。記録管理学会がこれら諸課題に対し指導的実践的な役割を果たしていただけるよう、なお一層の発展を心からお祈り申し上げます。

記録管理学会設立 20 周年への祝辞

企業史料協議会会長

歌田 勝弘

記録管理学会がこのたび設立 20 周年を迎えられ、記念すべき研究大会を盛況のうちに開催されることを心からお喜び申し上げます。なによりも記録管理学会の活動に絶え間なく積極的に取り組んでこられた関係者の皆様に深く敬意を表します。

記録管理学会発足のころ、わが国は経済的には世界に誇れる成功を収めておりましたが、記録や歴史資料の保存管理に関して、その重要性の認識は必ずしも高いとはいえない環境にありました。記録管理学会は、その設立趣意書のとおり、記録の重要性を認識し、実践的要請へ結びつけるために、発足以来、継続して文書管理法制定に向けての努力を重ねてこられたことは、関係者の高く評価するところであります。本年はそれらの成果の第一歩である「公文書管理法」成立も期待でき、二重の喜びと申せましょう。

さらに記録管理学会の活動は、公文書管理の面だけでなく、私たち企業史料にかかわる分野に対しても大きな貢献をされております。企業における記録管理の重要性や標準化のための啓蒙、ビジネスアーキビスト教育や中国档案学会との交流においても、私たちは積極的な協力をいただいております。記録管理学会からいただいたこれまでの支援に対して、感謝申し上げますとともに今後とも積極的な連携をお願いしたいと思います。

近年は社会環境の急速な変化のなかにあつて、デジタル資料を含む日々発生する膨大な記録から、歴史資料として評価の確立したものまで、官民ともに一貫した記録の保存管理および公開利用のための体制の確立が喫緊の課題となっています。記録管理学会がこれら諸課題に対し指導的実践的な役割を果たしていただけるよう、なお一層の発展を心からお祈り申し上げます。

記録管理学会創立 20 周年を迎えて

ARMA International 東京支部

会長 柿崎 康男

記録管理学会創立 20 周年という節目を迎えるにあたり、心よりお慶び申し上げます。創立時以来、官・民の組織社会で決して関心が高くなかった記録管理の重要性を高める活動が、20 周年を迎えた今、奇しくも「文書管理法」の制定という具体的な形で実ろうとしていることは、これまでに地道な活動に関わった貴学会関係者にとって誠に感慨深いものがあるかと拝察致します。その活動の源は、民主主義の原点（説明責任、透明性、情報の公開・開示）を支援する記録管理の重要な役割を愚直なまでに求める理想とボランティア精神にあったのではと存じます。

21 世紀の記録管理及びアーカイブスの世界は、ダイナミックに発展・変化する環境の中で、高い専門能力を有する人材の育成、組織的対応能力がますます要求され、貴学会の果たす役割は更に大きなものとなるでしょう。

記録管理学会が、次の 20 年に向け、関係機関・団体と強力なコラボレーションを保持しながら、より一層の飛躍をされんことを心からお祈り申し上げます。

記録管理学会 設立20周年に寄せて

社団法人日本画像情報マネジメント協会

理事長 高橋 通彦

この度、記録管理学会が設立20周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴学会は、平成元年の設立以来、記録の重要性を認識し、記録に関する社会現象を対象とする知的な努力の展開・記録管理により経済発展の可能性を探る実践的要請への対応を目的として活動され、学会誌「レコード・マネジメント」の発行、研究会活動及び研究大会やセミナーの開催、プロジェクト活動を通して、その成果を普及啓発されてこられました。

特に、日本の記録管理環境の向上を視野に、「文書管理法制定推進プロジェクト」をいち早く立上げ、その実現にむけて活動をされてきたと認識しております。

近年、官公庁・民間を問わず文書を記録し、管理することへの重要性認識が高まり行政においては「公文書管理法」制定にむけて国会審議がなされていることは周知の通りです。私共も「電子公文書等の管理・移管・保存のあり方を検討する実証実験に係わる委員会」への参加や公文書管理法の有識者会議の答申に対する提言等の活動を続けています。

また民間においても「e-文書法」制定により、文書の電子化が容認され、「新会社法」・「金融商品取引法」の制定、施行にともなう企業の内部統制により、文書を適正に記録し、管理するマネジメントへの転換が求められており、私共は、「統合文書情報マネジメント（ECM）の推進」をビジョンに掲げて、その普及啓発活動を推進しております。

社団法人日本画像情報マネジメント協会といたしましても、貴学会会員各位のたゆまぬ研鑽により記録管理の分野において、多大な貢献をされてこられましたことに敬意を表するとともに、設立20周年の節目を迎えられ、新たな未来に向けて「文書情報マネジメント・記録管理」分野の発展のために相互の連携・協力を強化し、貴学会が一層の飛躍・発展を遂げられますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

目 次

口絵 記録管理学会設立趣意書.....	i
発刊のご挨拶.....	iii
記録管理学会設立二十周年祝辞.....	v
衆議院議員（元公文書管理担当大臣） 上川陽子.....	v
独立行政法人国立公文書館館長 菊池光興.....	vii
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会長 秋池 武.....	viii
企業史料協議会会長 歌田勝弘.....	ix
ARMA東京支部会長 柿崎康男.....	x
社団法人日本画像情報マネジメント協会理事長 高橋通彦.....	xi
凡 例.....	xiv
第1章 機関誌『レコード・マネジメント』刊行リスト.....	1
第2章 機関誌『レコード・マネジメント』目次集 No.40-56.....	2
第3章 英語版『Records Management』Contents No.40-56.....	20
第4章 『RMS News Letter』刊行リスト.....	38
第5章 『RMS News Letter』内容リスト.....	39
第6章 理事会開催の記録.....	52
第7章 研究大会の記録.....	53
第8章 例会等の記録.....	56
第9章 記録管理学会のホームページ 2009.4. 11 現在.....	60
第10章 社会的提言集.....	64
【解 説】.....	64
資料1 文書管理法制推進プロジェクト発足宣言.....	65
資料2 記録管理学会10の提言.....	66
資料3 公文書管理の在り方等に関する有識者会議「中間報告」への意見書	68
第11章 記録管理学会10年表 2000-2009.....	69
第12章 歴代理事担当一覧.....	74
第13章 『レコード・マネジメント』著者名索引.....	75
あとがき.....	84
各章のデータ収集担当者一覧.....	85

凡 例

1. 本書の依拠資料

本書では、発行済の記録管理学会機関紙『レコード・マネジメント』（以下機関誌）、『RMS News Letter』（以下ニュースレター）、並びに記録管理学会ホームページ（以下HP）を基本資料として、データを収集した。

HP の URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/rmsj/rmsjnews.html>

2. 本書の構成

本書の構成は、第 1 章から第 3 章は機関誌の発行状況及び目次集、第 4 章、第 5 章はニュースレターの発行状況及び内容リスト、第 6 章から第 11 章は記録管理学会の運営及び活動の記録、第 12 章、第 13 章は会員の活動記録のデータを掲げている。なお、各章のデータに関する特記事項はそれぞれの章の冒頭に記した。

3. 電子媒体の情報源の所在

機関誌は国立情報学研究所（以下 NII）の CiNii という論文検索システムより、本書編集時点で 54 号までは PDF でファイル（冊子体をスキャンしたもの）の入手が可能。

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN10483407_ja.html

記録管理学会は、「刊行後、1 年から 5 年の間は定額許諾（大学等で CiNii と契約していれば無料で見られるが、個人としての利用は有料）」という取り決めを行っている。

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue_pkg/nels/AN10483407_ja.html

54 号までのファイルについてはヘッダとフッタが NII により付与されている。ただしファイル自体の著作権は学会が保有。（下記規定の第 5 条参照）

<http://ge.nii.ac.jp/GeNii-term.pdf>

ニュースレターは、記録管理学会HPに設けた会員専用サイトから最近のバックナンバーが入手できる。No.30 以前は抜粋掲示である。

4. 紙媒体資料の保管

記録管理学会では、2003 年実施の管理記録学会アーカイブプロジェクト RMSAP（Records Management Society's Archiving Project）により、紙媒体の機関紙、ニュースレターのバックナンバー各 5 部を保存用に収集した。その後の発行分はその都度追加しつつ、事務局長の管理のもとに倉庫会社に保管を委託している。

5. データ収集の担当者

データ収集の担当者、協力者は巻末に掲げた。

以上

第1章 機関誌『レコード・マネジメント』刊行リスト


- 記録管理学会HPのリストによった。

号数	発行年月	特集
第56号	Dec. 2008	2008年研究大会特集
第55号	May 2008	
第54号	Dec. 2007	2007年研究大会特集
第53号	Apr. 2007	特集「ライフサイクル論と continuum 論のはざままで」
第52号	Dec. 2006	2006年度研究大会特集
第51号	Mar. 2006	特集「記録管理と説明責任」
第50号	Dec. 2005	50号記念特集号「記憶、記録、史料、館、ネットワークーそのパラダイムシフトを考える」
第49号	Mar. 2005	2004年度研究大会特集
第48号	Oct. 2004	特集「企業のレコード・マネジメント、アーカイブ・マネジメント」
第47号	Mar. 2004	2003年度研究大会特集
第46号	Mar. 2003	
第45号	Nov. 2002	2002年度研究大会特集
第44号	Mar. 2002	
第43号	Nov. 2001	2001年度研究大会特集
第42号	Mar. 2001	
第41号	Nov. 2000	2000年度研究大会特集
第40号	Mar. 2000	

- 雑誌『レコード・マネジメント』は、現在、国立情報学研究所（以下NII）のCiNiiという論文検索システムより、54号まではPDFでファイル（冊子体をスキャンしたもの）の入手が可能。一覧はhttp://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN10483407_ja.htmlを参照。詳細は本書凡例を参照されたい。

第2章 機関誌『レコード・マネジメント』目次集 No.40-56

- 機関誌『レコード・マネジメント』の表紙は目次を掲出しているため、ここでは No.40-56 の表紙をまとめた。
- 雑誌『レコード・マネジメント』は、現在、国立情報学研究所（以下 NII）の CiNii という論文検索システムより、54 号までは PDF でファイル（冊子体をスキャンしたもの）の入手が可能。一覧は http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN10483407_ja.html を参照。詳細は本書凡例を参照されたい。




レコード・マネジメント
Records Management

記録管理学会誌
Mar. 2000

No. 40

◎論文：	
●行政情報の公開と図書館……………	大谷 康 晴 1
●アメリカ連邦政府における情報資源管理政策の変遷： 書類作成軽減の手段から電子政府の基盤へ……………	古賀 崇 9
●情報公開時代における地方自治体の文書管理と 資料保存の課題……………	高野 修 17
◎研究ノート：	
●アジアのアーキビスト教育：最近の状況……………	安藤 正人 27
●図書館所在情報の状況調査……………	田中 康雄 35
●新しい情報ネットワークコミュニティと情報専門職……………	逸村 裕 42
●工学部図書館の利用者アンケート：武蔵工業大学の事例……………	豊田 雄司 50
●記録管理をめぐる連載エッセイ（リレー式） 第5回： 分類とナレッジ・マネジメント……………	島津 忠弘 66
◎文献紹介：	
●山崎 久道著『専門図書館経営論 情報と企業の視点から』……………	岡野 陽一 71
●ジュリアン・ウォーカー著『本とコンピュータを結ぶ』……………	浜田 行弘 73
●記録管理学会へのお誘い	
●投稿規定・執筆要領	

記録管理学会



レコード・マネジメント
Records Management

記録管理学会誌

No. 41 2000年度研究大会特集 **Nov. 2000**

◎大会テーマ「ナレッジ・マネジメントとレコード・マネジメントⅡ—学問と知識—」	
基調講演：	
●いかに情報を使いこなすのか —情報過多時代における情報の活用—	佐藤 研 司 1
研究発表論文：	
●中尾佐助資料スライドデータベースの構築と 利用者間情報共有への展望	富 坂 敏 子 8
●電子文書の長期的保管のための枠組	伊 戸 川 暁 19
●現代日本の公共政策に関する資料とその収集	加 藤 多 恵 子 33
●家族歴史記録の収集および活用 —インターネット上での情報共有化とその展望—	増 田 節 雄 38
●記録管理をめぐる連載エッセイ（リレー式） 第6回： 情報管理と記録管理	城 下 直 之 43
◎文献紹介：	
●倉橋 英造・大城 善盛・赤尾 勝己・村上 泰子共著 『Web授業の創造：21世紀の図書館情報学教育と情報環境』	平 井 尊 士 47
●Gitler, Robert; Buckland, Michael, ed. Robert Gitler and the Japan Library School: An Autobiographical Narrative.	戸 田 光 昭 49
●小川千代子著『世界の文書館』	細 井 守 51
●記録管理学会へのお誘い ●投稿規定・執筆要領	

記 録 管 理 学 会



記録管理学会誌

No. 42

Mar. 2001

◎特別寄稿：	
●21世紀の幕開けと記録管理.....	壺 阪 龍 哉 1
◎論文：	
●アメリカ連邦政府のWebサイト運営：政策的基盤と課題	古 賀 崇 5
●アメリカにおける図書館のfundraisingと記録管理	福 田 都 代 13
●アメリカにおけるテレビニュースアーカイブの試練：「CBS対Vanderbilt」事件と「Baker修正」に見るテレビニュース保存・公開への法理	魚 住 真 司 22
●記録管理としての知的生産の技術及びその展開	那 須 幸 雄 36
◎研究ノート：	
●韓国の知識情報資源管理法.....	金 容 媛 43
●日米首脳会談と文書：文言をめぐる政治的軋轢.....	浅 野 一 弘 53
◎記録管理をめぐる連載エッセイ（リレー形式）第7回：	
●図書館と公文書館の位相.....	中 村 恵 信 62
◎文献紹介：	
●辰巳渚著『捨てる！技術』	小 谷 允 志 67
●豊田恭子他著『専門図書館のマネジメント』	関 野 陽 一 70
◎2000年度研究助成報告：	
●大学の研究者と情報共有	篠 原 久 姫 子 72
●2001年度研究助成募集	
●記録管理学会へのお誘い	
●投稿規定・執筆要領	

記録管理学会



記録管理学会誌

No. 43 2001年度研究大会特集

Nov. 2001

◎大会テーマ 「IT革命：21世紀の記録管理」

招待講演：

- 21世紀における情報専門職：役割、実践および挑戦……………ラリー・アーイング 1
加藤多恵子訳

研究発表論文：

- 雑誌記事に見る日米の知識管理論の相違……………高山正也 15
神村昌代
- 電子ジャーナルの現状と問題点：
電子ジャーナルは定着するのか？……………木本幸子 28

◎論文

- 人文科学電子テキストのレコード・マネジメント……………野口幸生 39
- 情報システム会社におけるデータフローモデル構築
による情報共有化と電子記録管理……………税所哲郎 48

◎文献紹介

- 大石学著『徳川吉宗・国家再建に挑んだ將軍』……………小川千代子 64
- 『デジタルアーカイブ白書2001』……………浜田行弘 67

◎訂正記事

- 記録管理学会へのお誘い 69
- 投稿規定・執筆要領

記録管理学会



記録管理学会誌

No. 44

Mar. 2002

◎論文

- 国際標準記録史料記述一般原則：ISAD (G)
その基本構造・考え方と問題点……………田 窪 直 規 1
- デジタル・アーカイブの現状と問題点……………原 田 隆 史 23
- 博物館資料の簡易デジタル化手法に関する考察：
戦時資料の事例を中心として……………小 坂 肇 35


◎研究ノート

- 貸重書のデジタル化：「グーテンベルク聖書」の事例……………富 岡 麻 理 49
- マイクロ写真士から文書情報管理士へ……………柿 崎 康 男 59
- 『レコード・マネジメント』誌の現在の課題と今後に向けての対策案：
掲載記事と著者の分析を通じて……………多 田 一 男 71

◎文献紹介

- 植村達男著『ある情報探素人の手記』……………戸 田 光 昭 83
- 記録管理学会へのお誘い
- 投稿規定・執筆要領

記 録 管 理 学 会



レコード・マネジメント
Records Management

記録管理学会誌

No. 45 2002年度研究大会特集 **Nov. 2002**

◎大会テーマ「イノベーションとしての記録管理」	
研究発表論文：	
●放射性廃棄物地層処分における記録保存の検討…杉山和彦・高尾原 肇 1	
●ISAD(G)の実装：アジア歴史資料センターの階層検索システム ……小大内 仁・松川 千代子 10	
●国際標準から見た日本の文書管理の課題：ISO15489の意味するもの…小谷 允 志 26	
研究ノート：	
●社史の実態分析と情報源としての魅力……………村橋 勝子 34	
●IT時代に求められるマイクロシステムの新しい役割： 電子アーカイブレコーディングシステムの紹介……………岡本 昌也 41	
●イノベーションとしての記録管理： アメリカ連邦政府の取り組みから……………古賀 崇 46	
◎論文	
●統計数値メタデータのデータ要素と表現の標準化……………金子 康樹 55	
◎研究ノート	
●図書館・情報センターにおける知識の蓄積と共有の試み： 米国議会図書館 CDRS, OCLC QuestionPoint と24/7サービス…浜田 行弘 69	
◎文献紹介	
●Holsapple, C.W. Joshi, K.D. "Knowledge manipulation activities: results of a Delphi study". Information & Management Vol. 39, p.477-490 (2002). (邦題：C.W. ホレスアップル・ K.D. ジョシ共著 「知識操作活動：デルファイ調査の結果」) ……嶋田 晋 75	
●記録管理学会へのお誘い	
●投稿規定・執筆要領	

記録管理学会



記録管理学会誌

Mar. 2003

No. 46

◎論文		
●「史料を読む」考……………	小林 年 春 1	
●「資料（情報源）に関する情報」のための国際標準化……………	菅 野 育 子 14	
◎研究ノート		
●デジタル情報の長期保存に関する問題点と マイクロフィルムの位置づけ……………		金 澤 勇 二 21
●知識経済時代に向けての日本再生と図書館の役割……………		石 津 孝 義 33
●病院図書館における医学情報管理と提供： 患者中心の医療のために……………		田 引 淳 子 53
◎文献紹介		
●村橋勝子著『社史の研究』……………	戸 田 光 昭 63	
●金谷媛著『図書館情報政策』……………	細 井 守 66	
●記録管理学会へのお誘い		
●投稿規程・執筆要領		

記録管理学会

No.47 2003年度研究大会特集

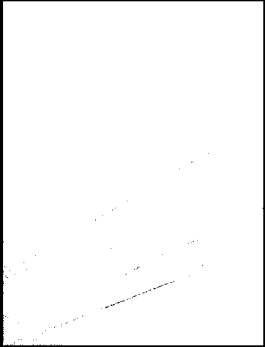


コード・マネジメント

Records Management

記録管理学会誌

Mar.
2004



大会テーマ「組織の倫理と記録管理」

研究発表論文

- 組織の倫理と記録管理……………小谷 允志 3
- 記録連続体の理論とその適用
—記録の評価選別における機能分析プロセスを例に—……………坂口 貴弘 15
- 市町村合併と行政文書の望ましい管理のあり方
—21世紀の地域創造と天草アーカイブズ—……………平田 豊弘 34
- 地方自治体の合併に伴う文書管理の諸問題
—静岡市と清水市の合併を例として—……………鈴木 文子
八重樫 純樹
小川 千代子 42

文献紹介

- 小川千代子他編著「アーカイブ事典」……………細井 守 55
 - Black, Alistair; Brunt, Rodney. "Information management in business, libraries and British military intelligence: towards a history of information management". Journal of Documentation, Vol. 55, No. 4, p. 361-374 (1999)
〔邦題:アリストワー・ブラック,ロドニー・プラント共著「ビジネス,図書館,イギリス軍諜報局における情報管理:情報管理史に向けての考察」〕…古賀 崇 60
 - JIIIMAの活動とAIIM白書「コンテンツ管理」:可用性と保存……………柿崎 義男 65
- 記録管理学会へのお誘い
○投稿規定・執筆要領

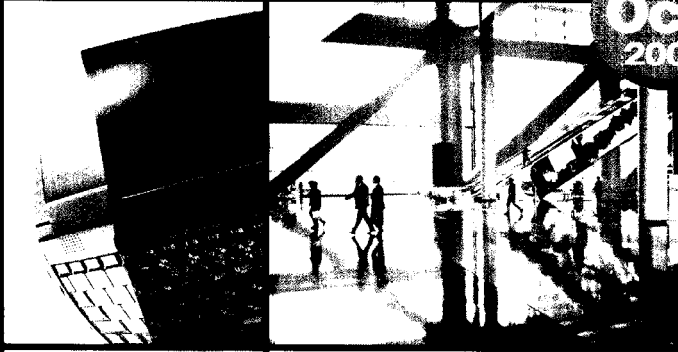
RMSJ
記録管理学会

No.48

コード・マネジメント

Records Management

Oct
2004



特集「企業のレコード・マネジメント、アーカイブ・マネジメント」

論文

- ◆技術経営の視点からみた企業史料の記録保存の意義と情報再編集の場としての博物館……………馬淵 浩一
- ◆企業史料を考える……………大村 英正
- ◆近年の法的規制・自主規制が文書管理に与える影響
—医薬品企業の場合……………黒濱 晃

講演記録

- ◆実業家アーカイブス—日本工業倶楽部プロジェクトについて—……………末吉 哲郎

展望インタビュー

- ◆新しいレコード・マネジャーの役割論……………小谷 允志
- ◆企業史料に關わってきて……………武田 隼人
- ◆日本の企業博物館の動向について……………星合 重男

翻訳

- ◆Terry Cook "What is past is prologue: a history of archival ideas since 1898, and the future paradigm shift" (Part 1) *Archivaria*, Vol. 43, 1997, p. 17-63……………塚田 治郎

書評

- ◆岡本哲和「アメリカ連邦政府における情報資源管理政策：その構想と変容」……………古賀 崇
- ◆J. MCLEOD, C. HARE, R. JOHARE.
"Education and training for records management in the electronic environment" the (re) search for an appropriate model" *Information Research*, 9(3) paper 179, 2004.……………坂口 貴弘

文献紹介

- ◆三輪貞木子「情報検索のスキル」……………岸田 利明
- ◆William SAFFADY, *Records Information Management: A Benchmarking Study of Large U.S. Industrial Companies*, ARMA International 2002……………小谷 允志
- ◆「企業史料協議会20年史」……………関野 隆一

RMSj

記録管理学会

No.49 2004年度研究大会特集

コード・マネジメント

Records Management



大会テーマ

「文書管理からアーカイブまで Records Continuumを考える」

論文

- 行政の文書管理と文書館 歴史的な説明責任の有無と記録 …… 福岡 紀子
- レコード・コンティニウムが問いかけるもの …… 中島 展比古
- オーストラリア連邦政府のレコードキーピング：
リテンション・スケジュールと記録処分規定の比較を巡して …… 坂口 貴弘
- 「Continuumとしての政府情報」と記録管理：
「政府情報論」の構築に向けての試論 …… 古賀 崇
- EHRの普及を目指して …… 長谷川 英重

外国文献紹介（翻訳）

- Terry Cook "What is past is prologue :
a history of archival ideas since 1898,
and the future paradigm shift"
(Part II) *Archivaria*, Vol. 43, 1997, p. 17-63 …… 塚田 治郎
- Sue Myburgh "Competitive Intelligence :
bridging organizational boundaries"
Information Management Journal (ARMA)
(Vol. 38, No. 2, March-April 2004) …… 小谷 允志

文献紹介

- 近江哲史「図書館に行ってくるよ：シニア世代のライフワーク探し」… 関野 陽一
- マシュー・バトリス著、白須英子訳「図書館の興亡」… 名和 小太郎
- 井上真琴「図書館に訊け！」… 大蔵 鏡子

RMSj

記録管理学会

No.50

レコード・マネジメント

Records Management

Dec.
2005



50号記念特集号

「記憶、記録、史料、館、ネットワーク——そのパラダイムシフトを考える」

特別寄稿

- John W. Carlin "Along with NARA : My Strategies and Accomplishments" (翻訳)小谷 允志 古賀 崇

論文

- アーカイブズ私論 辻川 敬
- 国立国会図書館におけるパッケージ系電子出版物利用可能性調査について 今野 篤
- 記録管理のパラダイムシフト 小谷 允志

外国文献紹介 (翻訳)

- Jean P. Wallot "Building a living memory for the history of our present : new perspective on archival appraisal" Journal of the Canadian Historical Association, Vol. 2, 1991, p.283-282 塚田 治郎

例会・大会特集

- 記録管理の定着に向けての記録管理学会特別例会終了に際して 高山 正也
- 中間倉庫制度の実現に向けて : 神奈川県を例を中心に 後藤 仁
- 向のための記録保存か——組織の証拠と記録 加藤 陽子
- 情報公開と文書管理 藤原 静雄
- 情報公開と文書管理 松井 茂記
- 情報公開制度と文書管理のあり方 三木 由希子

書評

- 綾方良彦、柴田亮介「情報センターの時代：新しいビジネス支援」..... 中島 めぐみ
- 健康情報館プロジェクト編「からだと病気の情報をさがす・届ける」..... 古賀 崇

RMSj
記録管理学会

No.51

コード・マネジメント

Records Management

記録管理学会誌



特集 「記録管理と説明責任」

論文

- レコードキーピングの理論と実践：
レコード・コンティニュームとDIRKS方法論 …………… 中島 康比古

研究ノート

- レコードセンター（中間書庫）の機能と役割 …………… 八木 信幸・星野 雅紀
- 記録を後世へ残す—記録の永続的保存と活用— …………… 新 祐介

報告ノート

- 韓国の国史編纂委員会と韓国歴史情報統合システムについて …………… 田窪 直規

特別寄稿

- 記録の属性とメタデータ標準を通して見る韓国の記録管理技術 …… キム・イクハン
- 移管基準の改正と公文書館制度について …………… 木方 幸久

例会特集

- リコーの考えるCSR …………… 平井 良介
- 記録管理の果たす役割—文化的・歴史的観点から …………… 牟田 昌平

書評

- 逸村裕、竹内比呂世編「変わりゆく大学図書館」 …………… 山本 順一
- 三田図書館・情報学会編「図書館・情報学研究入門」 …………… 山崎 久道
- 三浦逸雄監修、根本彰ほか編纂「図書館情報学の地平：50のキーワード」 …… 村上 鹿太郎
- 武田晴人「世紀転換期の起業家たち—百年企業への挑戦」、岡崎哲二「経済史の教訓 危機克服のカギは歴史の中にあり」 …………… 黒澤 晃

RMSJ
記録管理学会

No.52

コード・マネジメント

Records Management

記録管理学会誌

Dec.
2006



2006年研究大会特集 大会テーマ：「記録管理の社会的責任」

研究ノート

- ※米国の動態画像アーカイブ(moving image archive) …… 児玉 優子
- ※地方自治体のアーカイブ業務の効率化、文書管理の電子システム化を機会として …… 村上 大輔

特別講演

- ※著作物の寿命・著作権の寿命 …… 名和 小太郎

研究発表

- ※文書管理法(仮称)制定をめぐる諸活動と今後の課題 …… 荻坂 龍哉
- ※企業史としての記録保存と活用 …… 奥村 健治
- ※企業アーカイブズは社員の自信と誇りの源 …… 伊藤 勝久
- ※わが国企業の文書管理の現状と課題に関する考察 …… 山崎 久道
- 製造企業に対するインタビュー調査を通して …… 黒崎 晃・伊藤 充

出版記念セミナー

- ※「入門・アーカイブズの世界」の入門：
翻訳・編集担当者が語る本誌のポイント …… 古賀 崇
- ※パネルディスカッション「記憶と記録を未来にどう残すのか」
…………… 安藤 正人・小谷 允志・高埜 利彦・高山 正也・松岡 資明

学術エッセイ

- ※アウシュビッツ：ポーランドの世界遺産 …… 小川 千代子
- ※記憶と記録—2006年・第7回欧州アーカイブズ会議(ワルシャワ)を見学して …… 阿部 純

書評

- ※国際アーカイブズ評議会建築記録部会編 安澤秀一訳 著
「建築記録アーカイブズ管理入門」 …… 塚田 治郎
- ※長谷川俊明「新会社法が求める内部統制とその開示 第2版」 …… 伊藤 充
- ※興味をいかにからホームページをつくる研究者のために—ウェブから印刷情報を取得する実践が、 …… 東 龍治

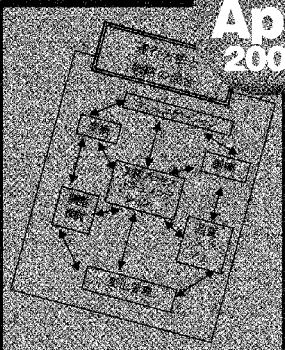
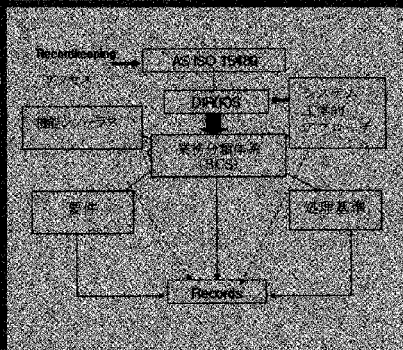
RMSJ
記録管理学会

No.53

レコード・マネジメント

Records Management

記録管理学会誌
Apr. 2007



資料番号	類型
0-1	業績再設計
0-2	書影の組織
0-3	資料編纂
0-4	電子アーカイブ
0-5	年次報告書
0-6	出版物
0-7	組織史料刊行
0-8	学術誌定期
0-9	学術誌特別号

特集「ライフサイクル論とcontinuum論のはざままで」

研究ノート
 ◎ 日本占領下のマラヤ1941-1945. におけるアーカイブスの利用 ……今井敬子

特別寄稿
 ◎ 電子公文書等の長期保存—国立公文書館の取組みを中心として— ……中島 康比古
 ◎ DIRKS-Manualの実用的適用 ……キム・イクハン
 ◎ 今、明らかになる! 米版SOX法の光と影—文書管理を中心に— ……デビッド・ステューブンス
 ◎ 日本版SOX法: 新会社法・内部統制の課題と文書管理のあり方 ……長谷川俊明

例会特集
 ◎ レコードキーピングをめぐる一考察: マケシッシュ、クックの論考をもとに ……古賀 崇

学術エッセイ
 ◎ Angelika Menne-Haritz博士による東京外国語大学2006年度特別講義
 「現代社会の中のアーカイブス」を要請して ……古賀 崇

書評・文献紹介
 ◎ 高山正也先生退職記念論文集刊行会編
 「明日の図書館情報学を拓く—アーカイブと図書館経営—高山正也先生退職記念論文集」 ……山崎 久道
 ◎ 山下貞恵「たかが文書、されど文書管理—企業の存亡を左右する文書管理」 ……登坂 龍成
 ◎ ビジネス機械情報システム産業協会「キエメント・マネジメント・システム委員会」
 内部統制の力を揮る文書管理システム導入のすすめ ……柿崎 康男
 ◎ 記録管理学会・日本アーカイブス学会共編
 「入門・アーカイブスの世界: 記憶と記録を未来に—翻訳論文集」 ……小原 由美子
 ◎ 全国大学史資料協議会編「日本の大学アーカイブス」 ……加瀬 大
 ◎ 外岡秀俊「情報のさばき方—新聞記者の実験ヒント」
 朝日新聞社編「コトネット」 ……後藤 新「新聞なんていらぬ!—読者のための大学講義」 ……黒濱 晃
 ◎ 企業史料協議会制作部会編「ビジネスアーカイブス入門ガイド」 ……関野 陽一

RMSj
 記録管理学会

No.54

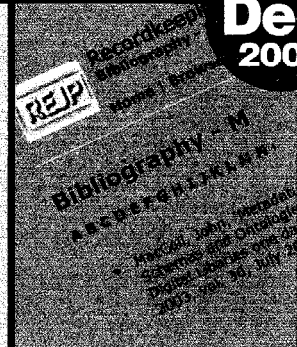
レコード・マネジメント

Records Management

Dec.
2007

**記録管理学会-ARMA東京支部合同特別セミナー
『公文書管理の法整備に向けて』**

昨年、貴公庁が保有する公文書の管理方法がさまざまな
です。公文書は政策決定等の説明責任を果たす
でもありません。記録管理学会としても、昨年9月、「文書
りまとめています。また本年2月、総合研究所発刊構内の
を臨床とする公文書管理法研究会は、その研究成果
向けて」と題して公表しました。
このように文書管理法制定についての議論が高まる
に、公文書管理の法整備についてセミナーを開催する
をお待ちします。



2007年研究大会特集 大会テーマ「コンプライアンスのための記録管理」

編集者への手紙

- 「アーカイブズ：社会におけるレコードキーピング」を読みながら考えたこと
..... 中島康比古

特別寄稿

- 中華人民共和国記録管理業務状況および中国档案学会の現況報告... 馮麟旺

大会特別講演

- 記録管理のコンプライアンスと証拠収集..... 小林 秀之

研究ノート

- 公文書館の概念変化についてー歴史資料の保存庫から情報公開の窓口へ
..... 清水 恵枝

研究発表

- ヤマハの歴史と経営システムの変遷からみた企業文化と記録管理
..... 栗岡久幸・黒清 晃

学術エッセイ

- 我が国において健全な文書館制度を確立するために~アメリカから学んだこと~
..... 仲本 和彦

- 蒙州・モナッシュ大学におけるレコードキーパー/アーキビスト教育
..... 若下ゆうき

編集委員会より

- 年次記録問題に寄せて..... 編集委員会

書評

- 谷口祥一・緑川信之「知識資源のメタデータ」..... 長塚 隆
- 小川千代子他「アーカイブを学ぶ：東京大学大学院講義録「アーカイブの世界」」
..... 柳瀬 悠平

RMSj
記録管理学会

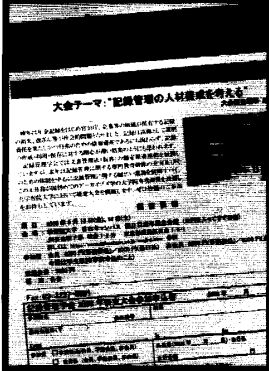
NII-Electronic Library Service

No.55

レコード・マネジメント

Records Management

May.
2008



編集者への手紙

※「どんな勉強をしたら、アーキビストになれますか？」
..... 中島康比古

論文

※わが国の公立学校における制度としての文書管理の現状と課題
..... 大蔵 綾子

研究ノート

※医療の質を高める記録管理—診療情報と医学情報の活用—
..... 田引 淳子

記録管理学会・ARMA東京支部合同特別セミナー

※文書管理のための法整備について：「公文書管理法研究会」要綱案の紹介
..... 高橋 滋
※大阪市公文書管理条例の策定と課題 橋本 浩典
※パネルディスカッション「公文書管理の法整備に向けて」
..... 高橋 滋・橋本 浩典・小谷 允志・松岡 資明

動向

※専門職の資格認定制度はどうあるべきか：諸外国の動向に学ぶ
..... 坂口 貴弘

書評

※御厨貴編「オーラル・ヒストリー入門」 仲本 和彦

文献紹介

※大濱徹也著「アーカイブスへの眼 記録の管理と保存の哲学」
..... 佐藤正三郎

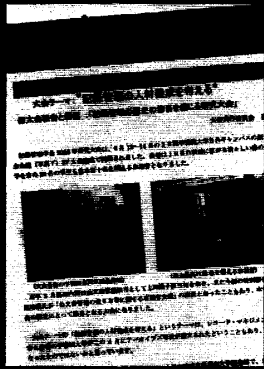
RMSj
記録管理学会

No.56

レコード・マネジメント

Records Management

Dec.
2008



2008年研究大会特集 大会テーマ「記録管理の人材養成を考える」

編集者への手紙

「アーカイブって何？」 アーカイブの多様性について考える
高島 正徳

大会特別講演

「情報公開と公文書管理」
尾崎 謙

特別講演会

「文書管理法（仮称）の制定に向けて」
宇賀 克也

論文

「わが国の公立学校における記録管理の人的側面をめぐる現状と課題」
大蔵 綾子

例会特集

「人が記録と向き合うとき 大文字の記録だけではなく」
中島康比古

動向

「電子記録管理におけるメタデータの特質」
坂口 貴弘

「アメリカ国立公文書館の目録寸感」
仲本 和彦

「ISO23081 1、23081 2について」
朝日 崇

書評

「小谷允志『今、なぜ記録管理なのか』」
記録管理のパラダイムシフト
塚田 治郎

「Abigail J. Sellen; Richard H.R. Harper」

「ペーパーレスオフィスの神話：なぜオフィスは紙で

あふれているのか？」
石井 幸雄

RMSj
記録管理学会

第3章 英語版『Records Management』 Contents No.40-56

- 機関誌『レコード・マネジメント』には、英語の目次頁があるので、No.40—56の当該頁をここにまとめた。
- 雑誌『レコード・マネジメント』は、現在、国立情報学研究所（以下NII）のCiNiiという論文検索システムより、54号まではPDFでファイル（冊子体をスキャンしたもの）の入手が可能。一覧は http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN10483407_ja.html を参照。詳細は本書凡例を参照されたい。

First Published in 1989

Records Management

No. 40 2000

CONTENTS

Articles

- Issues in Public Libraries on Access to Administrative Information under
the Law Concerning Access to Information Held by Administrative OrgansYasuharu OTANI 1
- Transition of Information Resources Management Policy in the United States
Federal Government : From the Method of Paperwork Reduction to the
Basis of Electronic GovernmentTakashi KOGA 9
- Freedom of Information Issues on Records Management and Archives
Preservation in Japanese Local GovernmentsOsamu TAKANO 17

Research Notes

- Recent Development of Archival Education and Training in Asian CountriesMasahito ANDO 27
- Survey on the Diffusion of Information about Archival Institutions in JapanYasuo TANAKA 35
- Current Progress for Information Network Communities and the
Information ProfessionalsHiroshi ITSUMURA 42
- Survey on User Satisfaction with a University Library in the Faculty of
Engineering : A Case Study of Musashi Institute of TechnologyYuji TOYODA 50

Essay

- Classification and Knowledge ManagementTadahiro SHIMAZU 66

Reviews

- Seimon Toshokan Keiciron (Manging a Special Library : Information Services within Corporate Libraries)
By Hisamichi YAMAZAKIYoichi SEKINO 71
- Hon to Computer wo Musubu (From Writing to Computers)
By Julian WARNERYukihiko HAMADA 73

First Published in 1989

Records Management

No. 41 2000

CONTENTS

Articles

A New Scenario for Business Information Management in Information Overload Society	Kenji SATO	1
An Image Database of Slides from Nakao Collection and Prospect for Knowledge Sharing	Toshiko TOMISAKA ; Reiko KOIKE ; Atsuhiro KOJIMA ; Keizo ISHII ; Takao MIYAMOTO ; Misako YAMANO	8
A Framework for Long-term Preserving Electronic Documents	Akira ITOGAWA	19
Current Japan's Public Policy Information and the Document Acquisitions Issue	Taeko KATO	33
A Web Family History Records Database by the Genealogical Society of Utah for Sharing of information	Setsuo MASUDA	38

Essays

Information Management and Records Management	Naoyuki SHIROSHITA	43
---	--------------------	----

Reviews

Web Jugyo no Sozo : 21 Seiki no Toshokan Johogaku Kyoiku to Joho Kankyo (Development of Web Courses : Library and Information Science Education and Information Environment in the 21st Century) by Eiichi KURAHASHI ; Zensei OSHIRO ; Katsumi AKAO ; Yasuko MURAKAMI	Takashi HIRAI	47
Robert Gitler and the Japan Library School : an Autobiographical Narrative by Robert L. GITLER ; edited by Michael BUCKLAND	Mitsuaki TODA	49
Sekai no Bunshokan (Archives in the World) by Chiyoko OGAWA	Mamoru HOSOI	51

First Published in 1989

Records Management

No. 42 2001

CONTENTS

Special Article

Dawn of the 21st Century and Records ManagementTatsuya TSUBOSAKA 1

Articles

Website Management in U.S. Federal Government: Policy Issues and Considerations
.....Takashi KOGA 5

Library Fundraising and Records Management in the United States of America ...Ikuyo FUKUDA 13

TV News Archive on Crisis: From CBS V. Vanderbilt to the Baker Amendment ...Shinji UOZUMI 22

Technology of Intellectual Creation as Record Management and Its Development
.....Yukio NASU 36

Research Notes

Legislation of Knowledge and Information Resources Management Law in Korea...Yong Won KIM 43

U.S.-Japan Summit Talks and the DocumentsKazuhiro ASANO 53

Essay

The Aspects of Libraries and ArchivesYoshinobu NAKAMURA 62

Reviews

Suteru Gijutsu (Techniques of Disposition) By Nagisa Tatsumi.....Masashi KOTANI 67

Senmon Toshokan no Manejimento (Principles of Special Libraries Management)
By Kyoko TOYODA et al.Yoichi SEKINO 70

Report for the 2000 Fiscal Year Research Grant

Information Sharing among University ColleaguesHimeko SHINOHARA 72

First Published in 1989

Records Management

No. 43 2001

CONTENTS

Articles

Information Professionals in the 21 st Century : Roles, Practices and ChallengesLarry H. EIRING; Translated into Japanese by Taeko KATO	1
Notes on Knowledge Management in Japanese and U.S. Journals : A Comparative StudyMasaya TAKAYAMA; Masaya KAMIMURA	15
Present Condition of Electronic Journals : Can They be Popular ?Sachiko KIMOTO	28
Record Management of Electronic Texts in the HumanitiesSachie NOGUCHI	39
Electronic Record Management by Data Flow Model Engineering in the Information System CompaniesTetsuro SAISHO	48

Reviews

Tokugawa Yoshimune : Kokka Saiken ni Idonda Shogun (Yoshimune Tokugawa : the Shogun Who Challenged the National Restructure) by Manabu OISHI.....Chiyoko OGAWA	64
Dejitaru Akaibu Hakusho 2001 (Digital Archives White Paper 2001) by Dejitaru Akaibu Suishin Kyogikai (Japan Digital Archives Association, JDAA)Yukihiro HAMADA	67

Erratum	69
---------	----

First Published in 1989

Records Management

No. 44 2002

CONTENTS

Articles

- General International Standard Archival Description : An Introduction and the Controversial Points
.....Naoki TAKUBO 1
- The Overview of the Digital ArchivesTakashi HARADA 23
- Simplified Methods for Digitizing Museum Resources :
A Case Study of the Archives on Wartime TokyoHajime KOSAKA 35

Research Notes

- Digitization of Rare Books : A Case of the Gutenberg BibleMari TOMIOKA 49
- New Certification Program for Imaging Professional :
Upgrading Certified Micrographics Specialist to Certified Document Information Manager
.....Yasuo KAKIZAKI 59
- Authors and Contents Analyses of *Records Management*, an Official Journal
of Records Management Society of JapanKazuo TADA 71

Reviews

- Aru Joho Tansakunin no Shuki (An Essay Brought by an Information Explorer)
By Tatsuo UEMURA.Mitsuki TODA 83

First Published in 1989

Records Management

No. 45 2002

CONTENTS

Annual Conference

Articles

- Study on the Record Preservation of High Level Radioactive Waste Geological Disposal
.....Kazutoshi SUGIYAMA; Hajime TAKAO; Jin OHUCHI; Nozomu MATSUBARA 1
- Implementing of ISAD(G) : Hierarchical Retrieval System at the Japan Center for Asian Historical Records
.....Chiyoko OGAWA 10
- ISO 15486 : How Japanese Records Managers Should Challenge It.
.....Masashi KOTANI 26

Research Notes

- An Empirical Analysis of Company Histories and Their Attractiveness as Information Source
.....Katsuko MURAHASHI 34
- The New Role of the Micro System in the Age of Information Technology :
An Introduction to the Electronic Archives Recording SystemMasaya OKAMOTO 41
- Records Management as Innovation : A Perspective of the U.S. Federal Government
.....Takashi KOGA 46

Articles

- A Standardization of Data Elements and Descriptions for the Statistical Metadata
.....Yasuki KANEKO 55

Research Notes

- Knowledge Accumulation and Knowledge Sharing by Libraries : CDRS by the Library
of Congress and QuestionPoint by OCLC for 24/7 ServicesYukihiro HAMADA 69

Review

- Holsapple, C.W. Joshi, K.D. "Knowledge Manipulation Activities : Results of a Delphi Study".
Information & Management Vol. 39, p. 477-490 (2002)Susumu SHIMADA 75

First Published in 1989

Records Management

No. 46 2003

CONTENTS

Articles

- A Thought on Reading Historical Resources
.....Toshiharu KOBAYASHI 1
- International Standardization Activities for Information and Documentation
.....Ikuko SUGANO 14

Research Notes

- The Concern about Preservation of Digital Documents, and Positioning of Microfilms
.....Yuji KANAZAWA 21
- The Significant Role of Libraries for Japan Revival and the Development of Knowledge Society
.....Takayoshi ISHIZU 33
- Management and Offering of Medical Information in Hospital Libraries: For Medical Care to Patients
.....Junko TABIKI 53

Reviews

- Shashi no Kenkyu (A Study of Company Histories) by Katsuko MURAHASHI
.....Mitsuaki TODA 63
- Toshokan Joho Seisaku (Library and Information Science Policy) by Yong Won KIM
.....Mamoru HOSOI 66

First Published in 1989

Records Management

No. 47 Mar. 2004

CONTENTS

Articles

- Ethics in organizations and records management
.....Masashi KOTANI 3
- Theory of 'records continuum' and its application: a case study of functional analysis process
in appraisal of records
.....Takahiro SAKAGUCHI 15
- Mergers of local municipalities and what administrative documents should be managed:
regional creation of the 21st century and Amakusa Archives
.....Toyohiro HIRATA 34
- Issues of documents management concerning the mergers of local municipalities:
the case of the merger of Shizuoka and Shimizu cities
.....Fumiko SUZUKI, Junki YAEGASHI, Chiyoko OGAWA 42

Reviews

- Encyclopedia of Archives edited by Chiyoko OGAWA et al.
.....Mamoru HOSOI 55
- Black, Alistair; Brunt, Rodney. "Information management in business,
libraries and British military intelligence: towards a history of information management".
Journal of Documentation, vol. 55, no. 4, p. 361-374 (1999)
.....Takashi KOGA 60
- The Activities of JHMA, and "Content Management"
and "Availability & Preservation" from AIIM Industry White Paper (Japanese translation)
.....Yasuo KAKIZAKI 65

No. 48, Oct. 2004

Records Management and Archival Management in Private Companies

CONTENTS

Articles

- Records management as MOT (Management of Technology) and recompilation of records
in corporate museumsKoichi MABUCHI 3
- Thoughts on business archivesHidemasa OMURA 11
- Effects of the recent legal and voluntary regulations on documents
management: The cases of pharmaceutical companiesAkira KUROZUMI 29

Lecture

- Archives of famous business leaders in Japan: introduction of a project of the Industry Club of Japan
.....Tetsuro SUEYOSHI 49

Interviews with experts

- What should be the roles of new records managers?Masashi KOTANI 54
- My involvement in corporate archivesHaruhito TAKEDA 57
- Trends of Japan's corporate museumsShigeo HOSHIAI 60

Translation

- Terry Cook "What is past is prologue: a history of archival ideas since 1898,
and the future paradigm shift" (Part I) *Archivaria*, Vol. 43, 1997, p. 17-63Jiro TSUKADA 63

Book reviews

- Tetsukazu OKAMOTO, *Information Resources Management Policy in the U.S. Federal Government:
Its Characteristics and Change*Takashi KOGA 91
- J. MCLEOD; C. HARE; R. JOHARE,
"Education and training for records management in the electronic environment
—the (re) search for an appropriate model" *Information Research*, 9(3) paper 179, 2004.
.....Takahiro SAKAGUCHI 96

Introduction of books/documents

- Makiko MIWA, *Information Retrieval Skill*Kazuaki KISHIDA 100
- William SAFFADY, *Records Information Management:
A Benchmarking Study of Large U.S. Industrial Companies*, ARMA International 2002
.....Masashi KOTANI 101
- Business Archives Association, ed. *Business Archives Association history 1981-2001*,Yoichi SEKINO 104

No. 49, Mar. 2005

“Records management to archives management—studying records continuum”

CONTENTS

Articles

Management of administrative documents and archival institutions :	
the relationship between historical accountability and records	Noriko FUKUSHIMA 3
What does the records continuum paradigm inspire in us as records and	
archives professionals ?	Yasuhiko NAKAJIMA 20
Recordkeeping in Federal Government of Australia :	
a comparison between the retention schedule and the records disposal authority	
.....	Takahiro SAKAGUCHI 39
“Government information as continuum” and records management :	
toward development of “government information studies”	Takashi KOGA 57
Towards spread of EHR	Hideshige HASEGAWA 74

Translations

Terry Cook “What is past is prologue :	
a history of archival ideas since 1898, and the future paradigm shift”	
(Part II) Archivaria. Vol. 43, 1997, p. 17-63	Jiro TSUKADA 83
Sue Myburgh “Competitive intelligence :	
bridging organizational boundaries” ARMA “Information Management Journal”	
(Vol. 38, No. 2, March/April 2004)	Masashi KOTANI 102

Introduction of books/documents

Satoshi OUMI. The know-how to use public libraries for senior citizen	Yoichi SEKINO 112
Matthew BATTLES. Library : an unquiet history	Kotaro NAWA 115
Makoto INOUE. Ask a library	Ayako OKURA 118

Records Management No. 50: Special Issue

**Memory, records, archives, institutions, networks:
considering their paradigm shifts**

CONTENTS

Contributed paper

John W. Carlin "Along with NARA: My Strategies and Accomplishments"	Masashi KOTANI, Takashi KOGA 3
--	--------------------------------

Articles

A personal view on archives.....	Atsushi TSUJIKAWA 20
Renderability of packaged electronic publications in National Diet Library	Atsushi KONNO 30
Paradigm shift of records management	Masashi KOTANI 40

Translations

Jean P. Wallot "Building a living memory for the history of our present: new perspective on archival appraisal" Journal of the Canadian Historical Association. Vol. 2, 1991, p. 263-282	Jiro TSUKADA 51
--	-----------------

Articles presented at the regular and annual meetings of the Society

On the occasion of concluding Special Meeting of the Society towards settlement of records management	Masaya TAKAYAMA 74
Positioning the records center in records-archives management system: a Kanagawa view	Hitoshi GOTO 76
What is records preservation for? : evidence of an organization, and records	Yoko KATO 80
Information disclosure and document management	Shizuo FUJIWARA 87
Freedom of information and records management	Shigenori MATSUI 93
Information disclosure system, and what the document management should be	Yukiko MIKI 102

Book review

Yoshihiko OGATA, Ryouzuke SHIBATA. An Epoch of the Information Centers: Its Business Support Activities	Megumi NAKAJIMA 107
Project of "Health Information Bookshelf." ed. Searching and Bringing Health and Medical Information	Takashi KOGA 112

Records Management No. 51:

Records management and accountability

CONTENTS

Article

- Theories and practices of recordkeeping: the records continuum and the DIRKS
MethodologyYasuhiko NAKAJIMA 3

Research notes

- Functional design of the records centerNobuyuki YAGI and Masaki HOSHINO 25
Leaving records for the future generations: permanent preservation and
active use of recordsYusuke SHIN 37
On the National Institute of Korean History and the Korean History On line.....Naoki TAKUBO 48

Contributed papers

- Evaluating records and their descriptive elements in the Records Management of
Korea on the basis of the characteristics of a record and recordkeeping metadata standards
.....Kim, Ik-han 58
Revision of disposal criteria and archival systemYukihisa KIKO 71

Articles presented at the regular meetings of the Society

- Ricoh's vision of CSRRyousuke HIRAI 81
Role of records management, from historical and cultural perspectivesShohei MUTA 87

Book review

- Hiroshi ITSUMURA, Hiroya TAKEUCHI, eds. *Changing University Libraries*Jun'ichi YAMAMOTO 94
Mita Society for Library and Information Science, ed.
Introduction to Library and Information ScienceHisamichi YAMAZAKI 97
Akira NEMOTO et al., eds.
New Horizons in Library and Information Studies: 50 KeywordsTokutaro MURAKAMI 102
Haruhito TAKEDA, *Entrepreneurs at the Turn of the Century:
Challenges toward a Centennial Company*
Tetsuji OKAZAKI, *Lessons from Economic History:
As the Key to Effective Crisis Management*Akira KUROZUMI 106

Records Management No. 52:

Social responsibility of records management

CONTENTS

Research notes

- Moving image archives in the United StatesYuko KODAMA 3
Ways of efficient archival management based on electronic system
of document managementDaisuke MURAKAMI 12

Special lecture at the annual meeting of the Society

- The lifetime of intellectual works and copyrightKotaro NAWA 23

Articles presented at the annual meeting of the Society

- Activities and challenges for the enactment of the Records Management Law
(tentative title) in JapanTatsuya TSUBOSAKA 30
Preservation and usage of records for a corporate historyKenji OKUMURA 37
Corporate archives as a resource of confidence and pride for the corporate staffKatsuhisa ITO 43
Current status and issues of records management activities within manufacturing companies
in JapanHisamichi YAMAZAKI Akira KUROZUMI, Mitsuru ITO 48

Commemorative seminar for the publication of *Introduction to Archival Science*

- Introduction to *Introduction to Archival Science*: A lecture by the editor and translator
.....Takashi KOGA 76
Memory and records into the future (panel discussion)
.....Masahito ANDO, Masashi KOTANI, Toshihiko TAKANO,
Masaya TAKAYAMA, Tadaaki MATSUOKA 86

Research essays

- Auschwitz: A World Heritage in PolandChiyoko OGAWA 106
Memories and records —a review of VII European Conference on Archives 2006 in WarsawJun ABE 115

Book review

- International Council on Archives, Architectural Records Section.
A Guide to the Archival Care of Architectural Records 19th-20th CenturiesJiro TSUKADA 123
Toshiaki HASEGAWA, *Internal Control and Disclosure Provided
by the New Corporate Law in Japan*, 2nd ed.Mitsuru ITO 127
Makoto Okamoto, *For a Researcher Making a Homepage from Now on:
A Practice Guide to Provide Academic Information on the Web*Ryuji HIGASHI 130

Records Management No. 53:

**Discussions crossing over the life cycle model and the
records continuum model**

CONTENTS

Research notes

"The Japanese Occupation of Malaya 1941-1945" founded by archivesKeiko IMAI 3

Contributed papers

A report on the efforts made by the Cabinet Office and the National Archives of
Japan to the challenges of the long-term preservation of electronic recordsYasuhiko NAKAJIMA 12
Practical application of DIRKS-Manual.....Kim, Ik han 28
The Sarbanes-Oxley Act: a comprehensive strategy for records management
complianceDavid O. Stephens 61
The Japanese SOX Act and the Companies Act of Japan:
issues of internal control and records managementToshiaki HASEGAWA 74

Articles presented at the regular meeting of the society

A review on recordkeeping theories and issues: based on the articles
by Sue McKemmish and Terry CookTakashi KOGA 89

Research essays

Summary of the special lecture "Archives in modern societies:
a European perspective" by Dr. Angelika Menne-Haritz at Tokyo University of
Foreign Studies in December 2006Takashi KOGA 108

Book review

Breaking Ground on New Library and Information Science:
Issues on Archives and Library Management
(A Festschrift for Professor Masaya Takayama)Hisamichi YAMAZAKI 112
Sadamaro YAMASHITA.
Who Will Not Manage Records Shall Never Succeed:
Records Management Affects the Existence of a Company.....Tatsuya TSUBOSAKA 117
Document Management System Group.
Japan Business Machine and Information System Industries Association.
A Manual for Document Management System as the Key to Internal ControlYasuo KAKIZAKI 121
The Records Management Society of Japan and the Japan Society for Archival Science, eds.
Introduction to Archival Science: Memory and Records into the
Future (An anthology of articles translated into Japanese)
.....Yumiko OHARA 126
Japan Association of College and University Archives of Japan, ed.
University Archives in JapanMasaru KASE 129
Hidetoshi SOTOOKA, How To Manage Information: Practical Hints from a Newspaper Journalist
ASAHI Shimbun, ed. Tomoko Sada, coordinated. Newspaper & SocietyAkira KUROZUMI 133
Business Archives Association, ed. A Guide to Business ArchivesYoichi SEKINO 139

Records Management No. 54:

Records management for compliance

CONTENTS

Letter to editors

- On some points suggested by *Archives: Recordkeeping in Society*: a letter to editors
.....Yasuhiko NAKAJIMA 3

Contributed papers

- Current issues of records management in the People's Republic of China, with introduction
to the Chinese Archives SocietyHewang FENG 12

Special lecture at the annual meeting of the Society

- The compliance of records management and collection of evidenceHideyuki KOBAYASHI 22

Research Note

- About conceptual change of Archives: from preservation of archives to window
of the information disclosureYasue SHIMIZU 30

Articles presented at the annual meeting of the Society

- Corporate culture and records management, from the point of YAMAHA's history
and management systemHisayuki KURIOKA, Akira KUROZUMI 41

Research essays

- Challenges for establishing robust archival system in Japan:
lessons from experience in the United StatesKazuhiko NAKAMOTO 49
Recordkeeping and archiving education at Monash University, AustraliaYuki IWASHITA 56

Special article from the Editorial Board

- Issues on the pension records in Japan: a reviewEditorial Board 66

Book review

- Metadata for Knowledge ResourcesTakashi NAGATSUKA 91
Studying Archives: Lecture Notes on "the World of Archives"
at the Graduate School, University of TokyoYuhei YANAGIE 93

CONTENTS

Letters to editors

- Searching for an answer to the question: what education and training will make an archivist ?
.....Yasuhiko NAKAJIMA 3

Articles

- Current situation and problems of document management as system in Public School in Japan
.....Ayako OHKURA 13

Research Notes

- Records Management to enhance quality of medical care: using the clinical and medical information
.....Junko TABIKI 36

Special Seminar by RMSJ and ARMA International Tokyo Chapter

- Legislative plan for records management in Japanese Government by a research group
under the National Institute for Research AdvancementShigeru TAKAHASHI 48
- Ordinance of the Public Records Management of Osaka City: an overview and challenge
.....Hironori HASHIMOTO 62
- Toward records management legislation in Japan (panel discussion)
.....Shigeru TAKAHASHI, Hironori HASHIMOTO, Masashi KOTANI, Tadaaki MATSUOKA 73

Research Trends

- Accreditation and certification of recordkeeping profession: recent trends in some countries
.....Takahiro SAKAGUCHI 90

Book reviews

- Takashi, MIKURIYA, ed., An Introduction to Oral HistoryKazuhiko NAKAMOTO 111
- Tetsuya OHAMA, A look at Archives : Philosophy of Records Management and Preservation
.....Shozaburo SATO 115

How to cultivate human resources for records management

CONTENTS

Letters to editors

"What is archive ?" : Consideration on diversity of archivesMasanori TAKASHIMA 3

Special lecture at the annual meeting of the Society

Freedom of information and national archives managementMamoru OZAKI 10

Special lecture at the meeting of the Society

For the legislation of Records Management Act (tentative)Katsuya UGA 19

Article

Current situation and problems of records management as personnel policy in public school in Japan
.....Ayako OHKURA 34

Article presented at the regular meeting of the Society

Why are records created, kept and archived ?Yasuhiko NAKAJIMA 58

Research Trends

Characteristics of metadata for electronic recordkeeping: an analysis of standards
.....Takahiro SAKAGUCHI 75

Some comments on Finding Aid of NARAKazuhiko NAKAMOTO 97

Comments on ISO23081-1, and 23081-2Takashi ASAHI 106

Book review

Masashi KOTANI

Why records management now ? Paradigm shift of records managementJiro TSUKADA 115

Abigail J. SELLEN; Richard H.R. HARPAP (translated by Hirohito SHIBATA and Kengo OMURA)

The Myth of the Paperless OfficeYukio ISHII 120

第4章 『RMS News Letter』刊行リスト

- 記録管理学会HP掲出のリストによる。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/rmsj/rmsjnews.html>

号数	発行年月	号数	発行年月	号数	発行年月
No. 9	2000.1	No.22	2003.4	No.35	2006.7
No.10	2000.4	No.23	2003.7	No.36	2006.10
No.11	2000.7	No.24	2003.10	No.37	2007.1
No.12	2000.10	No.25	2004.1	No.38	2007.4
No.13	2001.1	No.26	2004.4	No.39	2007.7
No.14	2001.4	No.27	2004.7	No.40	2007.10
No.15	2001.7	No.28	2004.10	No.41	2008.1
No.16	2001.10	No.29	2005.1	No.42	2008.4
No.17	2002.1	No.30	2005.4	No.43	2008.7
No.18	2002.4	No.31	2005.7	No.44	2008.10
No.19	2002.7	No.32	2005.10	No.45	2009.1
No.20	2002.10	No.33	2006.1	No.46	2009.4
No.21	2003.1	No.34	2006.4		

RMSニュースレターのHPへの掲載状況

- RMSニュースレターは、HP上では会員限定アクセスとなっている。
- No. 30までは概要一覧および内容の抜粋掲載で構成されている。これに対し、No. 31からは、全冊をPDFファイルで掲載しているため、タイトル一覧はない。

第5章 『RMS News Letter』内容リスト

- No. 9-30 は HP 掲載のニュースレター概要から採録した。
- No. 31-46 は HP に全データが掲載されているので少し詳しく採録したが、理事会要約版の報告者はすべて事務局長なので略した。

No.	発行年月	内 容
9	2000.1	<ul style="list-style-type: none"> ・学会長年頭の挨拶：ミレニアム時代の記録管理学会の課題 ・成功させよう！2000年研究大会（5月、京都）と10周年記念行事 ・ホットトピックス 〈図書・文献紹介〉 〈ニュース〉 ・おじさんのホットコーナー ・第76回例会のお知らせ ・第73回例会報告 ・第74回例会報告 ・第75回例会報告 ・後援行事案内：アート・ドキュメンテーション研究会関西地区部会'99年度第8回（通算65回）月例研究会案内 ・後援行事参加報告 ARMA 東京支部定例会 ・第83回理事会議事録要約版 ・第84回理事会議事録要約版 ・編集後記
10	2000.4	<ul style="list-style-type: none"> ・2000年研究大会案内 ・学会10周年記念行事開催さる ・韓国記録管理協会韓相完会長ら来日、学会幹部と交流！ ・2000年度記録管理学会研究助成金の公募！ ・ホットトピックス 〈図書・文献紹介〉 〈ニュース〉 ・おじさんのホットコーナー ・第76回例会報告 ・第86回理事会議事録 ・第87回理事会議事録 ・ウェブサイト掲載用「記録管理関連情報」の提供のお願い ・機関誌「レコード・マネジメント」41号（2000年9月発行予定）の投稿原稿募集 ・編集後記
11	2000.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2000年研究大会盛大に開催！ ・2000年研究大会に出席して ・アンケートも含めて良かった点と反省点 ・記録管理学会 2000年通常総会議事録（要約版） ・研究大会を終えて ・ホットトピックス 〈図書・文献紹介〉 〈ニュース〉 ・記録管理学会機関誌『レコード・マネジメント』のWeb論文・記事検索システム完成！ ・2000年度記録管理学会研究助成金の対象決定！ ・記録管理学会事務局引越しと一時閉鎖のお知らせ ・第77回例会のご案内 ・第78回例会のご案内 ・第88回理事会議事録 ・第89回理事会議事録

		<ul style="list-style-type: none"> ・会費受領のお知らせ ・編集後記
12	2000.10	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2001年研究大会幕張で開催！ ・「韓国記録管理学会創立記念国際学術会議」に高山先生・金先生参加！ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <論文紹介> <ニュース> ・商法改正について思う ・学会監修のビデオ作っています 「記録管理の基礎」－企業編、行政編－ ・第77回例会報告 ・資料保存協議会 セミナー参加記 ・第79回例会のご案内 ・じんもんこん2000（学会後援行事）のご案内 ・第90回理事会議事録 ・会費受領のお知らせ ・編集後記
13	2001.1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会会長 2001年 年頭のご挨拶「今、なぜ記録管理なのか？」 ・成功させよう！2001年研究大会（5月25・26日、幕張） ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・記録管理学会第81回例会のお知らせ ・第78例会「板橋区公文書館見学」報告 ・第79回例会報告 ・第80回記録管理学会定例会報告 ・記録管理学会後援行事「じんもんこん2000」参加報告 ・第91回理事会議事録 ・第92回理事会議事録 ・会費受領のお知らせ ・編集後記
14	2001.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学会10周年記念事業「記録管理の基礎」ビデオ完成！！ 「記録管理の基礎」のビデオ制作に携って ビデオ作成に立ち会っての感想 ぜひご購入下さい。会員割引価格でご購入いただけます。 ・<特別寄稿> いよいよ情報公開法スタート！ ～説明責任と記録管理を考える～ ・記録管理学会2001年研究大会にご参加ください！ もう申し込みましたか？ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <論文紹介> <ニュース><イベント紹介> ・RMS Jウェブサイト“URL”変更のお知らせ ・2001年度研究助成金申請者募集の案内について ・第81回例会報告 ・DJI エグゼクティブセミナー参加記 ・記録管理学会後援行事のご案内 アート・ドキュメンテーション研究会 第12回(2001年度)年次大会のご案内 ・情報科学技術協会 第33回夏季特別セミナーのご案内 ・第93回理事会議事録 ・第94回理事会議事録 ・第95回理事会議事録 ・2001年度の「会費納入について」のお願い ・編集後記

15	2001.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2001年研究大会幕張にて盛大に開催！ 記録管理学会 2001年研究大会参加記 ARMA インターナショナル会長ラリー・アーイング氏の基調講演を聴いて 記録管理学会 2001年研究大会をおえて 記録管理学会 2001年通常総会議事録(要約版) 新理事から一言 (抱負など) ・【記録管理の基礎】ビデオ感想 ・ぜひご購入下さい。会員割引価格でご購入いただけます。 ・ARMA International 会長 Larry Eiring 氏来日記念セミナー ・ホットトピックス 図書、文献紹介 ニュース イベントその他 ・第84回例会のご案内 ・第83回例会のご案内ー予告ー ・<記録管理学会後援行事、再度のご案内>情報科学技術協会 第33回夏季特別セミナーのご案内 ・「アート・ドキュメンテーション研究会 2001年度年次大会参加記」 ・「震災復興支援委員会ニュース・レター」の神戸大学附属図書館「震災文庫」への寄贈について ・第96回理事会議事録 ・第97回理事会議事録 ・会費受領のお知らせ ・編集後記
16	2001.10	<ul style="list-style-type: none"> ・次回 2002年大会は東京御茶ノ水で5/31.6/1開催決定！ ・リレーエッセイ ・ホットトピックス<図書、文献紹介><新聞、ウェブサイトの記事><その他> ・第86回例会のご案内ー予告ー ・記録管理ビデオ好評発売中。会員割引価格でご購入いただけます。 ・整理技術研究グループ 2001年10月月例研究会 [共催行事] ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会の大会のご案内 ・記録管理学会後援イベントのご案内 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん) 2001 ・第82回例会報告 ・第83回例会報告 ・第84回例会報告 ・シンポジウム「電子化情報の収集・保存・流通をめぐる現代的課題」 ・情報科学技術協会夏季特別セミナー参加記 ・第98回理事会議事録 ・2001年度の研究助成について ・会費受領のお知らせ ・編集後記
17	2002.1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 会長 2002年 年頭のご挨拶 記録管理のねらいを再考する。 会長 壺阪 龍哉 2002年度研究大会テーマ 「イノベーションとしての記録管理」 ・アジア歴史資料センター開設、運用開始 ・リレーエッセイ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> <特別解説> ・第87回例会のご案内

		<ul style="list-style-type: none"> ・第 88 回例会のご案内 ・ 日本図書館研究会、整理技術研究グループに参加して ・「アート・ドキュメンテーション研究会 第 35 回研究会」参加記 ・ ARMA 年次大会（モントリオール大会）参加報告 —ISO 記録管理規格 15489 のことなど— ・第 85 回例会報告 ・第 99 回理事会議事録 ・第 100 回理事会議事録 ・会費受領のお知らせ ・編集後記
18	2002.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ RMSJ 記録管理学会 2002 年研究大会のご案内 テーマ：“イノベーションとしての記録管理” 大会実行委員会 委員長 小川千代子 ・2002 年通常総会のお知らせ ・記録管理学奨励賞の授賞を決定！ ・2002 年度の研究助成対象研究を募集 ・リレーエッセイ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・第 86 回例会報告 ・第 87 回例会報告 ・第 88 回例会報告 ・大阪歴史博物館見学参加記 ・第 101 回理事会議事録 ・第 102 回理事会議事録 ・学会員に対するアンケート実施中！ご協力ください。 ・学会事務業務一部外部委託にかんするお知らせ ・編集後記
19	2002.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2002 年研究大会盛大に開催！ 2002 年研究大会参加記 明治大学博物館黄見学記 記録管理学会 2002 年研究大会をおえて ・記録管理学会 2002 年通常総会議事録(要約版) ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・会員アンケート調査のご報告 ・第 90 回記録管理学会例会のご案内 ・後援行事のご案内：INFOSTA 西日本委員会企画セミナー「情報部門とナレッジマネジメント ・後援行事のご案内：「じんもんこん 2002」PNC Annual Conference and Joint Meetings 2002 のご案内 ・後援行事：整理技術研究グループ 6 月月例研究会報告 ・コンサル部会・ワイワイガヤガヤ会報告 ・編集担当からのお知らせ ・編集後記
20	2002.10	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理者の倫理教育が必要な時代に ・2002 年度の研究助成対象研究を決定！ ・リレーエッセイ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・第 89 回例会参加報告 ・第 90 回例会報告

		<ul style="list-style-type: none"> ・真中であっても編集後記 ・第 92 回例会報告 ・第 104 回理事会議事録
21	2003.1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 会長 2003 年 年頭のご挨拶 記録管理学会の在り方を再度見直す 会長 壺阪 龍哉 ・2003 年度記録管理学会研究大会は九州福岡市で開催！ ーテーマは「組織の倫理と記録管理」 大会実行委員会 委員長 小川千代子 ・表彰規定ができました ・「記録管理功労賞」候補者推薦募集 ・文書管理の ISO15489 いやいよ JIS 化開始 ・WG 発足 今年 6 月目途に JIS 制定を目指す ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・「ICA アーキビストの倫理綱領」の紹介 ・リレーエッセイ ・特別例会のご案内 ・後援行事のご案内 ・第 91 回例会報告 ・後援行事参加報告 ・第 105 回理事会議事録 ・第 106 回理事会議事録 ・編集後記
22	2003.4	<ul style="list-style-type: none"> ・RMSJ 記録管理学会 2003 年研究大会のご案内 大会テーマ「組織の倫理と記録管理」 見学会のご案内（1）5 月 30 日午前中 見学会のご案内（2）5 月 31 日午後 ・記録管理業務功労賞の授賞を決定 ・2003 年度の研究助成対象研究を募集 ・特別寄稿「歴史的な記録をどう伝えるか」 ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・当学会 Web サイトの「記録管理と記録管理学会の Q & A」が完成 ・リレーエッセイ ・国立国会図書館の「WARAP」に協力 ・特別例会参加報告書 ・桜前線に関するうんちくです ・第 107 回理事会議事録 ・編集後記
23	2003.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2003 年研究大会福岡で盛大に開催！ 2003 年研究大会参加記 記録管理学会 2003 年研究大会をおえて 大会担当理事・実行委員長 小川千代子 2003 年研究大会「組織の論理と記録管理」を総括する 大会実行委員 山崎 久造 ・記録管理学会 2003 年通常総会議事録(要約版) ・小谷新会長の会長就任のご挨拶 ・2003 年度理事、監事の紹介と役割分担 ・新理事の紹介 ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・研究助成対象研究決まる

		<ul style="list-style-type: none"> ・リレーエッセイ ・第 93 回記録管理学会例会のご案内 ・第 94 回記録管理学会例会のご案内 ・後援行事のご案内 ・第 108 回理事会議事録要約版 ・第 109 回理事会議事録要約版 ・記録管理学会アーカイブプロジェクト（RMSAP）について ・第 14 期収支決算書、第 15 期収支予算書の修正について ・会員増強キャンペーン“One 倍 One 作戦” ・編集後記
24	2003.10	<ul style="list-style-type: none"> ・福田官房長官に記録管理学会から要望書提出！ ・2004 年度記録管理学会研究大会テーマ・日程決まる！ ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・「記録管理学奨励賞」候補者の推薦を募集 ・リレーエッセイ ・第 93 回例会報告 ・第 94 回例会報告 ・第 95 回例会@東京（インターネットデータセンター）見学会報告 ・<後援行事のご案内> 研究集会 美術館・博物館、図書館の情報専門職制の開発と養成－現状と課題 ・後援行事参加報告 ・第 110 回理事会議事録要約版 ・第 111 回理事会議事録要約版 ・会員増強キャンペーン“One 倍 One 作戦” 中間報告 ・編集後記
25	2004.1	<ul style="list-style-type: none"> ・小谷会長 新年のご挨拶 ・2004 年度記録管理学会研究大会は東京青山で開催 ・「歴史資料として重要な公文書等の適切な保存、利用等のための研究会中間とりまとめ」に対する「要望書」提出その後について ・会員増強キャンペーンの結果報告 ・ISO TC46 SC11 東京会議 ー世界レベルの記録管理を見る ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・リレーエッセイ ・第 98 回記録管理学会例会のご案内 ・第 99 回記録管理学会例会のご案内 ・<後援行事> ARMA 東京支部第 72 回定例会のご案内 ・第 96 回例会報告 ・第 97 回例会報告 ・<後援行事>アート・ドキュメンテーション研究会第 42 回研究会参加記 ・駿河台大学・行政文書管理の国際セミナー概要報告 ・第 112 回理事会議事録要約版 ・●さる談義「申」と「猿」と「猴」● ・編集後記
26	2004.4	<ul style="list-style-type: none"> ・2004 年度記録管理学会研究大会案内 テーマ：「文書管理からアーカイブまで」Record Continuum を考える ー組織された記録は、重要な社会資源だー

		<ul style="list-style-type: none"> ・公文書等の適切な管理、保存及び利用に関する懇談会で小谷会長提言 ・記録管理学奨励賞の授賞を決定 2004 年度の研究助成対象研究を募集 ・ホットトピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・リレーエッセイ ・第 98 回例会報告 ・第 99 回例会報告 ・第 2 回全史料協・企業史料協・大学史資料協合同研究会研修会、参加記 ・東京外国語大学国際シンポジウム「21 世紀アーカイブを創る」に参加して ・第 113 回理事会議事録要約版 ・記録管理学会のロゴマーク決まる ・編集後記
27	2004.7	<ul style="list-style-type: none"> ・2004 年度記録管理学会研究大会は盛会裏に終了 2004 年度研究大会の総括 記録管理学奨励賞の 2 作品に寄せて 「2004 年度研究大会参加記」 2004 年度研究大会（第 2 日）の感想 国立公文書館見学会について ・公文書等の適切な管理、保存及び利用に関する懇談会が報告書提出文書管理基本法案（記録管理学会の骨子案）について ・ホット トピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・第 3 回アート・ドキュメンテーション研究フォーラムのご案内 ・第 100 回記録管理学会例会報告 ・第 2 回 J H K（情報保存研究会）オープンセミナー 受講の報告 ・記録管理学会 2 0 0 4 年通常総会議事録（要約版） ・国立情報学研究所（旧・学術情報センター）電子図書館サービス（NACSIS-ELS）の利用について ・編集後記
28	2004.10	<ul style="list-style-type: none"> ・高山先生特別例会で内閣府公文書管理懇談会の報告 ・特別例会（I C A 15 回大会呼応イベント）報告 ・ホット トピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・記録管理業務功労賞の候補者の推薦を募集します！ ・<後援行事のご案内> 人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん :-）2004」 シンポジウム「パフォーミング・アーツ・アーカイブの現在」が開催されます。 ・第 101 回記録管理学会例会報告 ・第 102 回記録管理学会例会報告 ・第 104 回例会報告 ・(財) 日本学会事務センター破産事件と本学会の対応経過について ・第 114 回理事会議事録要約版 ・第 115 回理事会議事録要約版 ・臨時理事会議事録要約版 ・第 116 回理事会議事録要約版 ・編集後記
29	2005.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・2005 年度記録管理学会研究大会のお知らせ ・内閣府・国立公文書館主催の「シンポジウム」が開催された

		<ul style="list-style-type: none"> ・ホット トピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・<トピックス解説> e-文書法について勉強しよう ・第106回記録管理学会例会のご案内「何のための記録保存かー組織の証拠と記録」 ・<後援行事のご案内>合同研究会後援のお知らせ ・第103回記録管理学会例会報告 ・第105回記録管理学会例会報告 ・第117回理事会議事録要約版 ・記録管理学会機関誌『レコード・マネジメント』バックナンバー販売のお知らせ
30	2005.4	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2005 年研究大会 5.13/14 京都で開催 ・記録管理業務功労賞の授賞を決定！ ・ホット トピックス <図書、文献紹介> <ニュース> ・2005 年度の研究助成対象研究を募集 ・第106回例会報告 ・アート・ドキュメンテーション研究会第45回研究会報告 ・『博物館世界の情報組織化：記述指針とオントロジ』受講の報告 ・国際シンポジウム「東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える」報告 ・記録管理学会 108 回例会のご案内（関西地区） ・日本アーカイブズ学会 2005 年度大会 ・第118回理事会議事録要約版 ・第119回理事会議事録要約版 ・編集後記
31	2005.7	<ul style="list-style-type: none"> ・2005 年度 記録管理学会研究大会 開催！ テーマ：記録管理と説明責任—情報公開制度の適正運用と文書管理法の実現にむけて— 報告と総括：副会長 研究大会担当理事 小川千代子 ・記録管理学会 2005 年通常総会議事録（要約版） 事務局長 細井 守 ・記録管理業務功労賞の表彰式 ・2005 年度研究大会参加記 福井県文書館 清水恵枝 ・文書管理法制定プロジェクト発足宣言 ・ホット トピックス <ニュース> <文献紹介> ・2005 年度の研究助成対象研究を募集<募集期間を延長して募集中> ・第107回定例会「情報公開と文書管理」参加記 会長 小谷允志 ・第108回例会報告 同志社国際中・高等学校 上田(尾鼻) 啓未 ・「ARMA International 会長来日記念セミナー」開催さる 報告者 小谷允志 ・記録管理学会 109 回例会のご案内 例会担当理事 黒済 晃 ・アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会 '05 年度第 2 回（通算 96 回）研究会 関西例会担当 平塚詩穂 ・第120回理事会議事録要約版 細井 守 ・第121回理事会議事録要約版 関野 陽一 ・編集後記
32	2005.10	<ul style="list-style-type: none"> ・文書管理法制定推進プロジェクト発足 プロジェクト担当理事 壺阪 龍哉 ・ホット トピックス <文献紹介> <ニュース> <ちょこ (千代子) っとニュース> ・<トピックス解説> 「e-文書法」について勉強しよう (2) 松本 優 ・第109回例会報告 報告者：櫻井史郎・黒済晃 ・<後援行事のご案内>第5回 JHK オープンセミナー開催案内 ・<後援行事のご案内>「人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん 2005）」 ・<後援行事のご案内>アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会 '05 年度第 2 回（通

		<p>算 96 回) 研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書管理法制定プロジェクト発足宣言 ・「記録管理学奨励賞」候補者の推薦を募集 研究支援担当理事 (副会長) 小川 千代子 ・会員データ更新のためのアンケート調査についてのお願ひ ・レコード・マネジメント バックナンバーの入手について ・第 122 回理事会議事録要約版 ・編集後記
33	2006.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・2006 年度記録管理学会研究大会のお知らせ 大会実行委員会委員長 黒濟 晃 ・「記録管理学奨励賞」候補者の推薦を募集します 研究支援担当理事 小川千代子 ・ホットトピックス <文献紹介> <ニュース> <ちよこ (千代子) っとニュース> ・第 110 回例会報告 報告者:名古屋科学館 馬淵浩一 ・第 112 回例会 (関西開催) のご案内 ・<記録管理学会後援行事報告> 日本セキュリティ・マネジメント学会 第 18 回学術講演会報告 西川康男 アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会 '05 年度第 2 回研究会参加記 平塚 詩穂 ・記録管理学会機関誌『レコード・マネジメント』50 号記念特集号発刊なる! ・第 123 回・第 124 回理事会議事録要約版 ・●戌 (いぬ) 年談義● ・編集後記
34	2006.4	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2006 年研究大会 5.19/20 横浜で開催 大会担当理事 黒濟 晃 大会テーマ:記録管理の社会的責任 記録管理学会 2006 年研究大会日程 ・文書管理法 (仮称) 制定のための記録管理学会が「トライ」(案)作成 プロジェクト担当理事 壺阪龍哉 「文書管理法の制定推進のために」記録管理学会特別会開催! ・第 113 回特別例会報告:文書管理法制定推進のために 報告者:松本優 ・記録管理学奨励賞の受賞を決定! 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・2006 年度研究助成対象研究募集 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・ホットトピックス <文献紹介> <ニュース> <ちよこ (千代子) っとニュース> ・<ニュースと解説> 日本版 SOX 法についての最新情報と解説 松本優 ・第 111 回例会報告:記録管理の果たす役割 (牟田昌平講師) 報告者:金杉信宏 ・第 125 回理事会議事録要約版 ・編集後記
35	2006.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2006 年研究大会開催さる! 大会テーマ:記録管理の社会的責任 報告と総括:記録管理のパラダイムシフトを実感する 大会担当理事 黒濟 晃 ・記録管理学会 2006 年通常総会議事録 事務局長 関野洋一 ・記録管理学奨励賞の表彰 ・記録放送ライブラリー見学 筑波大学大学院 田嶋知宏 ・ホットトピックス <文献紹介><Web ニュース> <千代子っとニュース> ・入門・アーカイブズの世界-記憶と記録を未来に-(学会作成翻訳論文集)の紹介 ・第 112 回例会報告:記録管理をめぐる技術・組織・社会 報告者:平塚詩穂 ・例会 (関西開催) のご案内-(1):電子化文書の長期保存 (クレオ大阪) ・例会 (関西開催) のご案内-(2):(奈良県立図書館) ・入門・アーカイブズの世界出版記念セミナー開催のお知らせ

		<ul style="list-style-type: none"> ・第126回・第127回理事会議事録要約版 ・編集後記
36	2006.10	<ul style="list-style-type: none"> ・入門・アーカイブズの世界出版記念セミナー開催 ・2006年度研究助成対象研究募集 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・記録管理業務功労賞候補者の推薦を募集 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・ホットトピックス <文献紹介> ・第114回例会報告：我が国において健全な公文書館制度を確立するために 報告者：黒済晃 ・第115回例会報告：技術伝承と記録（清水建設） 報告者：戸田光昭・黒済晃 ・<特別寄稿>IFLA ソウル大会「国際図書館情報会議」参加報告 報告者：山崎久道 ・第128回・第129回理事会議事録要約版 ・●ホット一息コーナー● ・編集後記
37	2007.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・2007年記録管理学会研究大会のお知らせ テーマ：“コンプライアンスのための記録管理” 大会実行委員会委員長 黒済 晃 ・2006年度研究助成対象研究2件を決定！ 研究支援担当理事 小川千代子 ・会員配布用会員名簿の掲載項目・会員専用メーリングリストの構築について ・ホットトピックス <文献紹介> <ちょこ（千代子）っとニュース> ・第113回例会報告：電子化文書の長期保存 報告者：平塚詩穂 ・第116回例会報告：奈良国立博物館・奈良県立図書館情報館 報告者：平塚詩穂 ・第116回例会参加記：あるアーキビストのつぶやき（報告者：菅真城） ・<国際会議参加報告>第2回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議（報告者：古賀崇） ・後援行事案内：アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会2007年度第1回（通算99回）研究会 ・第130回理事会議事録要約版 ・●ホット一息コーナー● ・編集後記
38	2007.4	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年研究大会 6月8、9日 浜松で開催！ 大会テーマ：“コンプライアンスのための記録管理” 研究大会実行委員会委員長 黒済 晃 記録管理学会2007年研究大会日程 ・2007年度記録管理業務功労賞、きまる！ 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・ホットトピックス <文献紹介> <ちょこ（千代子）っとニュース> ・第117回例会報告：日産自動車横浜工場・エンジン博物館 報告者：関野陽一・黒済晃 ・後援行事案内：ARMA International 会長来日記念セミナー（東京・大阪） ・後援行事案内：2007年ICA（国際図書館評議会）/SPA（専門家団体部会）運営委員会 全史料協 交流レセプション開催のご案内 ・後援行事案内：公開フォーラム アーカイブの公共性とアクセス、アメリカの経験・日本の経験 ・第131回・第132回理事会議事録要約版 ・編集後記
39	2007.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会2007年総会・研究大会開催さる！ 大会テーマ：“コンプライアンスのための記録管理” 報告と総括：研究大会担当理事 黒済 晃 ・記録管理学会2007年度通常総会議事録（要約版） 事務局長 関野陽一 ・2007年度記録管理業務功労賞の表彰 研究支援担当理事 副会長 小川千代子 ・ヤマハ本社グランドピアノ工場見学 報告者：荒俊樹

		<ul style="list-style-type: none"> ・会長就任のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・2007 年研究大会をふりかえって 清水恵枝 ・ホットトピックス <文献紹介> <文献の表紙紹介> ・後援行事報告：アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会 2007 年度第 1 回（通算 99 回）研究会 報告 報告者：田窪 直規 ・後援行事報告：ARMA 会長スーザン・マッキニー氏講演 報告者：小谷允志 ・後援行事報告：日米アーカイブセミナー報告と後援お礼 日米アーカイブセミナー実行委員会委員長 小川千代子 ・第 134 回理事会議事録要約版 ・編集後記
40	2007.10	<ul style="list-style-type: none"> ・第 119 回例会報告：EBM について学ぶ！ 報告者：例会担当理事 黒済 晃 ・2006 年度研究助成対象研究を募集！ 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・記録管理学奨励賞候補者の推薦を募集します 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・ホットトピックス <文献紹介><Web サイト紹介><隣接学会・協会の情報> ・<特別寄稿>「新しい大学図書館の姿—創造する空間としての多摩美術大学八王子図書館—」と『つくる図書館をつくる』 戸田光昭 ・ARMA ボルチモア年次大会速報 報告者：日本レコードマネジメント（株） 小谷允志 ・第 120 回例会案内：ビジネス情報の基盤（帝国データバンク） 例会担当理事 黒済 晃 ・後援行事案内：人文科学とコンピュータシンポジウム 2007（じんもんこん 2007） ・第 135 回理事会議事録要約版 ・編集後記
41	2008.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・2008 年記録管理学会研究大会のお知らせ 大会実行委員会委員長 黒済 晃 2008 年大会テーマ：記録管理の人材養成を考える” ・アーカイブズ関係機関協議会においての当学会からの当学会からの提案内容 ・記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー報告 報告者：村岡正司 ・ホットトピックス <文献紹介> <Web・新聞ニュース> ・■記録管理とダイエット■ ・第 120 回例会参加記：ビジネス情報の基盤—帝国データバンク 報告者：関野陽一・黒済晃 ・後援行事案内：資料保存研究セミナー「アーカイブを未来に～デジタルアーカイブの光と影～」 ・後援行事案内：INFOSTA 研修会・セミナー バイタル・レコード・マネジメント ・第 136 回・第 137 回理事会議事録要約版 ・編集後記
42	2008.4	<ul style="list-style-type: none"> ・2008 研究大会 6 月 13. 14 日学習院大学で開催！ 大会テーマ：“記録管理の人材養成を考える” 大会担当理事 黒済 晃 記録管理学会 2008 年研究大会プログラム ・記録管理学奨励賞 2008 年の受賞者決定！ 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・2008 年度研究助成対象研究を募集！ 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・ホットトピックス <文書管理法に関連する動き><文献紹介><Web 上のニュース紹介><ちょこ（千代子）っとニュース> ・記録管理学会・ARMA 東京支部・全史料協共催行事案内：「特別講演会：文書管理法（仮称）の制定に向けて」ご案内 ・後援行事報告：資料保存研究セミナー「アーカイブを未来に～デジタルアーカイブの光と影～」参加記（藤沢市役所）細井 守 ・アーカイブ、アーカイヴ、アーカイブズ、アーカイブス、デジタルアーカイブについて

		<ul style="list-style-type: none"> ・後援行事報告：INFOSTA 研修会・セミナー バイタル・レコード・マネジメント 報告者：堀池博巳 ・〈特別寄稿〉メールコンプライアンスとメール統制の講演を聞いて 報告者：西川康夫 ・第 138 回理事会議事録要約版 ・編集後記
43	2008.7	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会 2008 年総会・研究大会開催さる！ 大会テーマ：“記録管理の人材養成を考える” 大会報告と総括：「記録管理の歴史の節目を感じる研究大会」大会実行委員会 黒済 晃 ・記録管理学会 2008 年度通常総会議事録（要約版） 事務局長 関野陽一 ・2008 年度記録学奨励賞の表彰 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・2008 年度研究助成対象研究を募集！研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・特別講演会「文書管理法（仮称）の制定に向けて」報告者：副会長 小川千代子 ・学習院大学図書館・院史資料室見学会参加記 報告者：中島めぐみ ・ホットトピックス 〈文献紹介〉 〈ニュース〉 ・イベント情報：国立情報学研究所市民講座「データ社会とアーカイブ」講師古賀崇 ・第 139 回、第 140 回理事会議事録要約版 ・編集後記
44	2008.10	<ul style="list-style-type: none"> ・国の公文書管理制度改革の最新動向 記録管理学会 会長 小谷允志 ・記録管理業務功労賞候補者の推薦を募集 研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・文書管理専門職要請に関する研究会(案)について ・オーストラリア記録管理協会(RMAA)2008 年シドニー大会参加記 報告者：理事 古賀崇 ・ホットトピックス 〈文献紹介〉 〈ニュース〉 <ちよこ (千代子) っとニュース> ・〈イベント報告〉◆NII 市民講座「データ社会とアーカイブ」盛況のうちに終了！国立情報学研究所 古賀 崇 ・第 124 回例会案内：守りの記録管理から攻めの文書管理へ 関西担当理事石井幸雄 ・第 125 回例会案内：文書管理をめぐる課題総括とあるべき姿の実現にむけて（関西大六甲山荘） ・後援行事案内：第 2 回 JHK シンポジウムのお知らせ ・後援行事案内：情報と人をつなぐじょいんと懇話会 ・後援行事案内：人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん-2008） ・隣接学会行事案内：情報知識学フォーラム（鶴見大学記念館） ・第 141 回、第 142 回、臨時、第 143 回理事会議事録要約版 ・重要なお知らせ 住所変更やメールアドレス変更は必ずご連絡ください ・編集後記
45	2009.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 記録管理学会会長 小谷允志 ・記録管理学会設立 20 周年記念 2009 年研究大会のお知らせ ・大会テーマ：“公文書管理の新展開”－ライフサイクルを通じた公文書管理の構築にむけて－ 研究大会実行委員会 黒済晃 ・〈特別寄稿〉「公文書管理法制定に向けた最近の動き－国家公務員の現場から－」農林水産省農林水産研究情報総合センター中島めぐみ ・2009 年度研究助成対象研究、今年は該当者なし！研究支援担当理事 八重樫 純樹 ・ホットトピックス 〈文献紹介〉 <ちよこ (千代子) っとニュース> ・第 23 回例会報告：「人と記録と向き合うとき一大文字の記録だけではなく」に参加して 東龍治（株式会社国際マイクロ写真工業社） ・第 124 回例会報告：「守りの記録管理から攻めの文書管理へ」関西例会担当 石井幸雄 ・第 125 回例会報告：「文書管理をめぐる課題総括とあるべき姿の実現につけて」関西例会担

		<p>当 石井幸雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援行事の報告:「じんもんこん:-)2008」参加記 農林水産省農林水産研究情報総合センター中島めぐみ ・後援行事の報告:第2回JHKシンポジウム報告 ・第13回(2008年度)情報知識学フォーラムの報告 ・JBMA 文書管理システムセミナーKANSAI 2008の報告 ・第144回理事会議事録要約版 ・編集後記
46	2009.4	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理学会設立20周年記念研究大会2009 大会テーマ公文書管理の新展開－ライフサイクルを通じた公文書管理の構築に向けて 大会担当理事黒済晃 ・「公文書管理法案、いよいよ国会へ」 会長 小谷允志 ・「上川陽子元公文書管理担当大臣との会見記」 会長 小谷允志 ・2009年記録管理業務功労賞授賞者が決定! 研究支援担当理事 八重樫純樹 ・ホットトピックス <文献紹介> <ニュースから> <ちょこ(千代子)っとエッセイ> ・第145回、第146回理事会議事録要約版 ・編集後記

第6章 理事会開催の記録

- 開催場所「NRM(株)」は日本レコードマネジメント株式会社の省略。

No.	開催日	開催場所	No.	開催日	開催場所
85	00.01.24	慶應義塾大学	臨時	04.07.29	NRM(株)会議室
86	00.02.24	慶應義塾大学	116	04.09.10	NRM(株)会議室
87	00.03.18	慶應義塾大学	117	04.11.11	NRM(株)会議室
88	00.04.27	慶應義塾大学	118	05.01.11	NRM(株)会議室
89	00.06.24 ～06.25	駿河台学園箱根セミ ナーハウス	119	05.03.16	NRM(株)会議室
			120	05.04.26	NRM(株)会議室
90	00.09.01	慶應義塾大学	121	05.06.24	南青山会館会議室
91	00.10.07	慶應義塾大学	122	05.08.25	NRM(株)会議室
92	00.11.30	生涯現役研究所	123	05.10.28	NRM(株)会議室
93	01.01.12	生涯現役研究所	124	05.12.20	NRM(株)会議室
94	01.02.19	慶應義塾大学	125	06.02.24	NRM(株)会議室
95	01.03.19	慶應義塾大学	126	06.04.04	NRM(株)会議室
96	01.04.26	慶應義塾大学	127	06.06.09	NRM(株)会議室
97	01.06.23	駿河台学園 (箱根)	128	06.08.11	NRM(株)会議室
98	01.08.24	横浜市開港会館	129	06.10.06	NRM(株)会議室
99	01.10.26	慶應義塾大学	130	06.12.25	NRM(株)会議室
100	01.12.11	慶應義塾大学	131	07.02.26	NRM(株)会議室
101	02.02.06	慶應義塾大学	132	07.03.29	NRM(株)会議室
102	02.04.04	慶應義塾大学	133	07.04.27	NRM(株)会議室
103	02.06.22	駿河台学園 (箱根)	134	07.06.22	NRM(株)会議室
104	02.08.23	慶應義塾大学	135	07.08.31	国立情報学研究所
105	02.10.25	生涯現役研究所	136	07.11.02	NRM(株)会議室
106	02.12.06	慶應義塾大学	137	07.12.21	NRM(株)会議室
107	03.02.07	生涯現役研究所	138	08.02.28	NRM(株)会議室
108	03.04.11	慶應義塾大学	139	08.04.25	NRM(株)会議室
109	03.06.28	駿河台学園 (箱根)	140	08.05.30	NRM(株)会議室
110	03.09.03	慶應義塾大学	141	08.06.27	NRM(株)会議室
111	03.10.02	TS スピロン神田もん じょ箱	142	08.07.30	NRM(株)会議室
			臨時	08.08.06	NRM(株)会議室
112	03.12.05	NRM(株)会議室	143	08.09.26	NRM(株)会議室
113	04.02.03	NRM(株)会議室	144	08.11.21	NRM(株)会議室
114	04.04.07	慶應義塾大学	145	09.01.23	NRM(株)会議室
115	04.07.03	アルカディア市ヶ谷	146	09.03.13	NRM(株)会議室

第7章 研究大会の記録

- 表題は大会終了後の報告（ニュースレター、HPに掲載）を採録した。
- 「研究発表」「会員研究発表」といった項目のズレはそのままにした。
- 発表者・テーマは発表順に並べた。

名称・大会テーマ	開催日	開催場所	発表者・テーマ（発表順）
2000年研究大会 「ナレッジ・マネジメントとレコード・マネジメントⅡ－学問と知識－」	2000年5月26日 (金)・27日	龍谷大学深草キャンパス(京都市)	佐藤研司「情報は役に立つのか」(基調講演) 篠原久姫子「大学研究者の情報共有」(研究助成発表) 富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子「中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者による追加情報共有化の試み」(研究発表) 吉田栄子『統計・調査資料ガイド』を刊行して(研究発表) 増田節雄「家族歴史記録の収集および活用」(研究発表) 加藤多恵子「現代日本情報の情報源と収集」(研究発表) 伊戸川暁「電子文書の長期的保管のための枠組」(研究発表)
2001年研究大会 「IT革命－21世紀の記録管理－」	2001年5月25日 (金)・26(土)	海外職業訓練協会研修センター(千葉市)	小坂肇「近現代史における史料情報データベース構築についての基礎的研究：近現代史料のデジタル化及び情報抽出手法を中心として」(研究助成発表) ラリー・アーイング「21世紀の情報専門職：役割、実践および挑戦」(基調講演) 細井守「行政の情報化と記録保存」(研究発表) 高山正也・神村昌代「日米比較に見るナレッジ・マネジメント論発展の経緯」(研究発表) 木本幸子「電子ジャーナルについて：電子ジャーナルは定着したか？」(研究発表) 田窪直規「これからの情報専門職」(研究発表) 岡田泰吉・小佐野尚子「Cosmos I-D. b. の設計趣旨」(研究発表)
2002年研究大会 「イノベーションとしての記録管理」	2002年5月31日 (金)・6月1日 (土)	中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)	村岡正司(司会)・伊戸川暁・古賀崇・小林年春・森本祥子「イノベーションとしての記録管理を考える」(パネルディスカッション) 小谷允志「記録管理の国際標準 ISO15489 の意味するもの」(研究発表) 小川千代子「ISAD(G)の実装－アジア歴史資料センターの検索手段」(研究発表) 杉山和稔「放射性廃棄物の地層処分における記録保存の検討」(研究発表) 村橋勝子「社史の実態分析と情報源としての魅力」(研究発表) 岡本昌也・長谷川友洋「デジタルの記録を未来に残す」(研究発表)
2003年研究大会 「組織の倫理と記	2003年5月30日	福岡電気ビル(福岡市)	小谷允志「組織の倫理と記録管理」(基調講演) 坂口貴弘「文書の永続的価値評価と記録管理：カナダに

録管理」	(金)・ 31日(金)		<p>おける評価選別論の動向を中心に」(研究助成発表)</p> <p>平田豊弘「市町村合併と行政文書の望ましい管理のあり方」(研究発表)</p> <p>布川圭子「文書管理システムをめぐる顧客動向と求められる取組み」(研究発表)</p> <p>渡口善明「IT化時代にこそ開かれた記録管理を」(研究発表)</p> <p>小川千代子・八重樫純樹・鈴木文子「地方自治体の合併における文書管理の問題について：静岡市と清水市の合併から」(研究発表)</p> <p>小林秀彦「我が国組織の倫理的課題解決のための個人主義の重要性と近代的記録管理の導入」(研究発表)</p>
2004年研究大会 「文書管理からアーカイブまで－Record Continuumを考える－」	2004年5月28日(金)・29日(土)	農林水産省共済組合南青山会館(東京都港区)	<p>吉見俊哉「博覧会の世紀からアーカイブの世紀へ：記録・展示・創造と大学の未来」(特別講演)</p> <p>加藤久明「日本型ナレッジマネジメント理論の再検討：組織的知識創造理論研究の批判的考察」(研究助成発表)</p> <p>古賀崇「「Continuumとしての政府情報」と記録管理」(会員研究発表)</p> <p>坂口貴弘「オーストラリア政府のレコードキーピング：リテンション・スケジュールとの比較を通して」(会員研究発表)</p> <p>保田その「組織と業務の再構成をめざした記録管理：京都大学大学文書館移管行政文書の整理より」(会員研究発表)</p> <p>福嶋紀子「永続的文書記録の利用提供：歴史的な説明責任の有無と記録」(会員研究発表)</p>
2005年研究大会 「記録管理と説明責任－情報公開制度の適正運用と文書管理法の実現にむけて－」	2005年5月13日(金)・14日(土)	京都大学100周年時計台記念館国際交流ホール(京都市)	<p>大蔵綾子「学校教育における記録管理の現状と課題」(研究助成発表)</p> <p>松井茂記「情報公開制度と記録管理」(特別講演)</p> <p>小谷允志「説明責任と記録管理」(特別発表)</p> <p>中島康比古「コンテンツアムが切り拓く記録と社会の新たな地平」(特別発表)</p> <p>三木由希子「情報公開制度と文書管理のあり方」(特別発表)</p> <p>中西勝彦「記録管理と文書管理の相違」(会員研究発表)</p> <p>坂口貴弘「文書管理規定の分析：都道府県の場合」(会員研究発表)</p> <p>兼子次生「速記における技術革新と展望：会議録から情報福祉へ広がる用途」(会員研究発表)</p>
2006年研究大会 「記録管理の社会的責任」	2006年5月19日(金)・20日(土)	横浜情報文化センター(横浜市)	<p>名和小太郎「記録の寿命、著作権の寿命」(特別講演)</p> <p>山崎久道「企業の文書管理序説」(プロジェクト研究発表)</p> <p>黒済晃・伊藤充「企業の文書管理実態調査」(プロジェクト研究発表)</p> <p>奥村健治「企業史としての記録保存と活用」(特別事例紹介)</p>

			<p>伊藤勝久「企業アーカイブズは社員の自信と誇りの源」(会員研究発表)</p> <p>坂口貴弘「記録の評価選別における機能分析手法：カナダ・アメリカ合衆国・イギリスの事例をもとに」(会員研究発表)</p> <p>児玉優子「アメリカの動態画像アーカイブ(Moving Image Archive)」(会員研究発表)</p> <p>古賀崇「個人情報保護と記録管理をめぐる論点：アメリカの状況を中心に」(会員研究発表)</p>
2007年研究大会 「コンプライアンスのための記録管理」	2007年6月8日 (金)・9日(土)	静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館(静岡県浜松市)	<p>田嶋知宏「アーカイブズにおけるサービス業務の検討：記録という情報に着目して」(研究助成発表)</p> <p>清水恵枝「公文書館の概念変化について：歴史資料の保存庫から情報公開の窓口へ」(研究助成発表)</p> <p>小林秀之「記録管理のコンプライアンスと証拠収集」(特別講演)</p> <p>古賀崇・小川千代子「国際連合における記録管理の現状と課題」(会員研究発表)</p> <p>八重樫純樹「情報資源化と共有化」(会員研究発表)</p> <p>田引淳子「医療の質の向上のための記録管理」(会員研究発表)</p> <p>栗岡久幸「ヤマハの歴史と経営システムの変遷」(会員特別発表)</p>
2008年研究大会 「記録管理の人材養成を考える」	2008年6月13日 (金)・14日(土)	学習院大学創立百周年記念会館(東京都豊島区)	<p>尾崎護「情報公開と公文書管理」(特別講演)</p> <p>清水恵枝「地方自治体の文書管理システムを支援する環境」(会員研究発表)</p> <p>水戸康敬「研究開発における記録管理システム構築支援ツールの開発」(会員研究発表)</p> <p>高津隆「帝国データバンク史料館と人材育成」(会員研究発表)</p> <p>松崎裕子「ビジネスアーカイブとアーキビストに関する海外文献情報の収集と普及活動」(会員研究発表)</p> <p>小川千代子「国際機関のアーカイブと記録管理」(会員研究発表)</p> <p>保坂裕興「大学院アーカイブズ学教育とその課題」(会員研究発表)</p>

第8章 例会等の記録

- HP掲載のニュースレターによった。但し、第82回、第84回の発表者等の氏名表記に不明なものがあることをお断りしておく。

No.	開催日	開催場所	テーマ	発表者・話題提供者等
76	2000/3/14	リコー銀座事業所(東京都中央区)	リコーにおけるナレッジ・マネジメントの実践事例	松本優
77	2000/9/30	帝塚山学院住吉校(大阪市)	電子図書館システム構築の試み: 文書と画像をも見据えて—InfoLibの紹介と実演—	田代高久・鳥越直寿
78	2000/10/6	板橋区公文書館(東京都板橋区)	板橋区公文書館の運営について	
79	2000/11/15	日本銀行金融研究所(東京都中央区)	日本銀行アーカイブ・貨幣博物館の見学と説明	
80	2000/12/15	金葉酒家(東京都港区)	最近の記録管理の話題から	小谷允志
81	2001/2/17	レミントマイクロ会議室(大阪市)	これからの文書管理とファイリング・マネジメント	城下直之
82	2001/7/13	石川特殊特急製本(大阪市)	IT化で顧客満足を追及する特殊特急製本	石川寛・平瀬
83	2001/8/24	日本新聞博物館(横浜市)	日本新聞博物館の見学と説明	
84	2001/9/7	内田洋行大阪支店(大阪市)	①役所の文書管理とは ②図書館における上手な管理方法 ③ファイリング什器とショールーム見学	湯川・広瀬・岡野
85	2001/12/21	南青山会館(東京都港区)	<年末ミニ討論会>記録管理学会の求めるものとは?	村岡正司・細井守・桜井史郎
86	2002/1/11	近畿大学中央図書館(大阪府東大阪市)	近畿大学中央図書館貴重書室見学	山元秀明
87	2002/2/15	兵庫県民会館(神戸市)	①県政資料館の概要 ②兵庫県における歴史的公文書について ③県政資料館の見学 ④質疑討議	吉住健
88	2002/2/16	東京国立博物館資料館(東京都台東区)	めざせ!ミュージアムのライブラリアン—学芸員や市民に価値あるライブラリをめざして—	住広昭子・草野鏡子・山崎美和・伊藤陽子・芦谷美奈子・大江長二郎
89	2002/7/19	電気の史料館(横浜市)	電気の史料館および同文書館の見学	
90	2002/7/27	近大会館(大阪市)	光アドレス電子ペーパーとドキュメンテーションの可能性	三田恒正
91	2002/9/4	松竹大谷図書館(東京都中央区)	松竹大谷図書館の見学及び説明	須貝弥生
92	2002/9/20	大阪府立女性総合センター	情報サービスの新境地を拓く	高山正也
特別	2003/3/15 -16	関西大学飛鳥文化研究所(奈良県明日香村)	①これからの情報公開制度に向けての行政文書管理の課題 ②個人情報保護とデジタル文書管理	山崎貴浩・城下直之・高山正也

			③ドキュメンテーション再考:資料管理思想の歴史	
93	2003/8/23	富士フイルム大阪支社 (大阪市)	記録の長期・安全保全の実現を目指して—これからの電子アーカイブを考える	岡本昌也・本橋清
94	2003/9/6	堀内カラー・アーカイブサポートセンター (大阪市)	歴史資料のデジタルアーカイブ—画像資料を研究活用するための支援アプリケーション「iPalletnexus」を中心に—	植崎誠二・神阪吉史
95	2003/9/30	アット東京 (東京都江東区)	インターネットデータセンター (iDC) 見学会—IT時代のデータ保全とセキュリティ	
96	2003/10/24	東京都写真美術館 (東京都目黒区)	人物アーカイブの研究—近代日本を創った経済人伝記目録のデータベース化	末吉哲郎
97	2003/11/29	大阪樟蔭女子大学 (大阪府東大阪市)	資料保存の考え方、実践の仕方	栗木衛
98	2004/1/24	大阪市立浪速人権文化センター (大阪市)	映像アーカイブのための目録法	児玉優子
99	2004/2/13	電気の史料館・文書館 (横浜市)	産業技術情報の記録保存と再編集の場としての企業博物館—発電所建設記録映像のアーカイブを例として	馬淵浩一
100	2004/4/24	京都大学大学文書館 (京都市)	①京都大学大学文書館の概要 ②帝国大学時代の文書管理—京都大学大学文書館の行政文書	西山伸・保田その
101	2004/7/7	資生堂銀座本社 (東京都中央区)	企業アーカイブを文化に ①HOUSE OF SHISEIDO の開設意義 ②図書館とマーケティング	西村康俊・戸田光昭
102	2004/7/26	キャンホン社 (東京都大田区)	組織の記録保存と活用 ①企業のアーカイブへのアプローチ—資料収集とその活用 ②大学における記録資料の保存をめぐる	奥村健治・中村青志
特別	2004/8/19	アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区)	ICA 大会開催呼応イベント<公文書等の適切な管理、保存及び利用に対する体制整備について ①「公文書等の適切な管理、保存及び利用に関する懇談会」報告 ②懇談会の成果と今後の取組み	高山正也・小谷允志
103	2004/9/7	ファイザー本社・文化学園服飾博物館 (東京都新宿区)	新時代に対応する企業内情報センター ①Tokyo Medical Information Center 見学 ②企業内情報センター改革の事例と今後 ③西洋服飾版画の系譜展 (文化学園服飾博物館)	佐藤京子・山崎久道
104	2004/9/18	国立民族学博物館 (大阪府吹田市)	①民博における図書資料の管理と図書室の見学 ②事例を基に—デジタル化の動向 ③アラビアンナイト大博覧会	稲葉洋子・小野博
105	2004/12/17	九段会館 (東京都千代田区)	中間書庫制度の実現に向けて—神奈川県を例を中心に	後藤仁
106	2005/1/31	九段会館 (東京都千代田区)	何のための記録保存か—組織の証拠と記録	加藤陽子
107	2005/3/23	九段会館 (東京都千代田区)	情報公開と文書管理	藤原静雄

108	2005/5/28	国立国際美術館 (大阪市)	国立国際美術館の資料室と美術情報システムについて	徳山由香・中井康之
109	2005/8/3	アド・ミュージアム東京 (東京都港区)	記録の価値をどう創造するかーマーケティング・広告の歴史から	坂口由之
110	2005/10/25	南青山会館 (東京都港区)	組織の社会的信頼ーリコーの考える CSR	平井良介
111	2006/1/18	南青山会館 (東京都港区)	記録管理の果たす役割ー文化的・歴史的視点から	牟田昌平
112	2006/3/25	富士ゼロックス (大阪市)	記録管理をめぐる技術、組織、社会 ①ユビキタスネットワーク社会の到来 ②電子メディアと記録の保存 ③バイタルレコード・マネジメントへの取組みと最新技術動向について	野村靖仁・倉橋英逸・石井幸雄
特別	2006/3/28	九段会館 (東京都千代田区)	<討論会> 文書管理法の制定推進のために	壺阪龍哉(司会)
113	2006/8/26	クレオ大阪中央 (大阪市)	電子化文書の長期保存 ①電子化文書を“記録”として扱い続ける一法的及び技術的な現状と課題 ②文書を電子化するーラボから見た現状と課題	山本隆彦・松井正宏
セミナー	2006/9/1	国立情報学研究所 (東京都千代田区)	<出版記念セミナー>記録管理学会、日本アーカイブズ学会共同編集『入門・アーカイブズの世界ー記憶と記録を未来に』翻訳論文集刊行に寄せて ①『入門・アーカイブズの世界』の入門:翻訳・編集担当者が語る本書のポイント ②パネルディスカッション:記憶と記録を未来にどう残すか	古賀崇・安藤正人・小谷允志・高埜利彦・高山正也・松岡資明(パネル司会)
114	2006/9/8	九段会館 (東京都千代田区)	我が国において健全な公文書館制度を確立するためにー米国から学んだこと	仲本和彦
115	2006/9/28	清水建設技術研究所 (東京都江東区)	技術の伝承と記録 ①清水建設(株)建設技術歴史展示室 ②在来土木技術・たたきの再生と技術移転ー技術の記録保存の視点から	林章二・高木健治・馬渕浩一
116	2006/10/6	奈良県立図書館情報館 (奈良市)	奈良県立図書館情報館見学会	
117	2007/3/2	日産自動車横浜工場 (横浜市)	伝統技術と未来創造 ①日産自動車横浜工場・エンジン博物館 ②記録としての企業博物館	木村良幸・中川徹
118	2007/4/6	国立情報学研究所 (東京都千代田区)	日本と世界のアーカイブズ制度を学ぶ ①日本のアーカイブズ制度の遅れー歴史学との関わりから ②「レコードキーピングのこれから」について	高埜利彦・古賀崇
119	2007/8/31	国立情報学研究所 (東京都千代田区)	Evidence based Medicine の基礎知識ーEBM とその成果物	鈴木博道
120	2007/10/29	帝国データバンク (東京都新宿区)	ビジネス情報の基盤 ①帝国データバンクと記録管理 ②江戸期商人に依る経営事例調査	高津隆・後藤佳菜子・大谷明史
121	2007/12/17	南青山会館 (東京都港区)	<合同セミナー>公文書管理の法整備に向けて ①公文書管理法研究会の要綱案 ②公文	高橋滋・橋本浩典・松岡資明・小谷允志・松岡資明

			書管理条例策定と課題 ③パネルディスカッション	(パネル司会)
122	2008/4/23	中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区)	<合同セミナー>公文書管理法(仮称)の制定に向けて	宇賀克也
123	2008/10/17	国立情報学研究所 (東京都千代田区)	人が記録と向き合うとき—大文字の記録だけではなく	中島康比古
124	2008/11/22	大阪大学中之島センター (大阪市)	守りの記録管理から攻めの文書管理へ	城下直之
125	2008/12/13 -14	関西大学六甲山荘 (神戸市)	<Colloquium>文書管理をめぐる課題総括とあるべき姿の実現に向けて	城下直之・藤田和宏・山元聡子・中島めぐみ

第9章 記録管理学会のホームページ 2009.4. 11 現在

- トップページのみを固定して掲示した。文字の色表示は無視して印刷する。
- URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/rmsj/> (2009.4. 11 採録)

記録管理学会

The Records Management Society of Japan

ウェブサイト暫定公開版 (1997年4月開設) **Last Update 2009/4/10**

このウェブサイト (ホームページ) は、記録管理学会の学会員と学会員以外の皆様に、**記録管理学会と記録管理**の情報を提供することを目的としています。

「文書管理専門職養成に関する研究会」研究成果のとりまとめ概要は、[こちら](#)です。クリックして下さい。

ご意見を左記にメール下さい。 koho@wanbishi.co.jp

記録管理学会設立 20周年記念 2009年研究大会のお知らせ

2009年大会テーマ：“公文書管理の新展開”—ライフサイクルを通じた公文書管理の構築にむけて—

場所：東京渋谷 農水省共済組合 南青山会館(2009年5月29日(金)午後、30日(土)午前・午後)

また、下記のとおり**発表者を募集**しますのでふるって応募下さいますようお願い致します。
[研究発表申込書ダウンロード](#)

『レコード・マネジメント』編集委員会より

2007年12月発行の54号(目次)で、**編集委員会著「年金記録問題に寄せて」**を掲載し、**ウェブでも全文公開致しました**。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

学会誌のご購入に関するお問い合わせは、学会事務局長 関野陽一 (sekino@my.email.ne.jp) までお願い致します。

Last updated: November 16, 2007

English site is [HERE](#).

文書管理法制定推進プロジェクト発足宣言 (pdf版 12k) [ここをクリックしてください。](#)

公文書管理等の管理に関する法律案(平成21年3月3日)が、**閣議決定され国会に提出**されました。同法案は内閣府HP掲載されております。[ここをクリックしてください。](#)

公文書管理の在り方等に関する有識者会議 最終報告 「時を貫く記録としての公文書管理の在り方」～今、国家事業として取り組む～（平成 20 年 11 月 4 日）が、公開されました。
[ここをクリックしてください。](#)

上記の有識者会議 最終報告を受けて、「行政文書・公文書等の管理・保存に関する関係省庁連絡会議（第 3 回）平成 20 年 11 月 25 日（火）」で、今後の行政文書の管理に関する取組について（申合せ）が、行われました。
[ここをクリックしてください。](#)

トピックス情報

政府の海外向け広報誌「Japan Journal」の Web 版「Highlighting Japan」に Refreshing Japan's Memory Bank の標題で今回の「公文書管理のあり方に関する有識者会議」の設置の経緯や中間報告の骨子などが紹介されています。特に、アーカイブズの立場から学習院大学高埜教授が学習院大学大学院の専門コースのことも含め人材育成の重要性へのコメント等が紹介され、レコードマネジメントの立場からは、記録管理学会の小谷会長が、今回の中間報告への評価やレコードマネジメント（記録管理）の法律及び規則がまだ確立されていないことや専門家が不足していることなどの指摘をしています。

<http://www.gov-online.go.jp/eng/publicity/book/hlj/arti20080801.html> をご覧ください。

学会主催・後援・協賛行事

2009 年 5 月 22 日（金） 〔大阪〕 （後援行事）

ARMA International 会長来日記念セミナー 「内部統制と記録管理」：大阪セミナー

講演（1）：「米国 SOX 法の真実—企業防衛のための電子記録管理」（逐次通訳付き）

講師：ARMA International 会長 米国 IBM プリンシプル・アーキテクト ジョン・フロスト氏

講演（2）：「内部統制：ルールから運用へ」

講師：神戸大学大学院法学研究科 教授 志谷匡史氏

2009 年 5 月 20 日（水） 〔東京〕 （後援行事）

ARMA International 会長来日記念セミナー 「内部統制と記録管理」：東京セミナー

講演（1）：「米国 SOX 法の真実—企業防衛のための電子記録管理」（逐次通訳付き）

講師：ARMA International 会長 米国 IBM プリンシプル・アーキテクト ジョン・フロスト氏

講演（2）：「内部統制：ルールから運用へ—利益相反と記録管理—」

講師：長谷川俊明法律事務所 弁護士 長谷川俊明氏

2009年4月17日(金) 14:00~19:00 (受付 13:30) [東京]

第127回 記録管理学会例会 「企業文化の継承—花王ミュージアムと映像資料」

第1部 花王ミュージアム見学

第2部 講演「企業文化の継承—花王ミュージアムと映像資料」

花王(株)企業文化情報部 花王ミュージアム・資料室長 上田和夫氏

過去掲載学会主催・後援・協賛行事

イベント・セミナー・公募・採用情報

2009年3月14日(土)9:30~13:00 [京都]

図書館利用教育実践セミナー第13回 (in 京都)

会場：キャンパスプラザ京都 5階第1会議室 JR 京都駅ビル向かい
075-353-9100

テーマ：指導サービス専門家としての能力開発を！ 図書館員のメディア活用力を問う —アニメ世代にどう教えるか—

主催：日本図書館協会

過去掲載イベント・セミナー・公募・採用情報

学会誌「レコード・マネジメント」 No.56 (2008.12) 最新号

論文・記事検索 「レコード・マネジメント」 No.1(1989)~No.46(2003)

ビデオ「記録管理の基礎」 記録管理学会監修 (企画・発行：紀伊国屋書店) 発売中

第1巻 [行政編] 情報公開制度のための文書管理

第2巻 [企業編] 組織のための知的資産の蓄積と伝承

翻訳論文集『入門・アーカイブズの世界—記憶と記録を未来に』 「記録管理学会と日本アーカイブズ学会共編 (発行：日外アソシエーツ)

What's new

このウェブサイト (ホームページ) の最新情報です。

学会活動のページ (2007/4/22 更新)

記録管理学会の行事、活動、入会案内などをお知らせします。

News and Topics / 行事案内 (主催・共催・後援行事) / 研究会・部会活動 / プロジェクト活動 / 研究助成金・記録管理学奨励賞・記録管理業務功労賞 / 学会事務局から (お知らせ)

[せ・報告](#) / [学会誌「レコード・マネジメント」から](#) / [規約・沿革（設立趣意書・定款）](#)
[/ 入会案内（記録管理学会へのお誘い）](#)

記録管理の広場 (2005/11/24 更新)

記録管理に関連する**行事、書籍、事例、関連団体**などの情報を提供します。

[イベント・公募・採用情報](#) / [関連書籍・文献紹介](#) / [事例・システム紹介](#) / [メーリングリストの紹介](#) / [学会会員のウェブサイトへのリンク](#) / [関連団体のリンク](#)

記録管理と記録管理学会のQ&A (2003/03/31 更新)

記録管理と記録管理学会について説明します。

記録管理学会の連絡先 (2005/09/07 更新)

記録管理学会の連絡先と、このウェブサイト（ホームページ）の意見の宛先です。

All Rights Reserved, Copyright(C) 1997-

[記録管理学会 \(The Records Management Society of Japan\)](#)

第10章 社会的提言集

【解説】

2005年6月24日、記録管理学会では、それまでに議論を重ねてきた文書管理法制定推進プロジェクト発足宣言を取りまとめ、対外的に文書管理法制定を積極的に推進することを明確にした。

その後、文書管理法制定推進プロジェクト（プロジェクト担当理事：壺坂龍哉）の素案をもとに、2006年3月2日の理事会を経て、同年3月28日に開催された第113回例会（特別例会）で「文書管理法（仮称）制定のための記録管理学会ガイドライン（案）」が作成された。そして、最終的には、同年5月19日の当学会2006年通常総会で「文書管理法（仮称）制定のための記録管理学会ガイドライン」として賛成多数で承認された。文書管理の専門家で構成される当学会の責務として、ガイドラインに基づき、社会的提言を行うことになったわけである。

2007年には、宙に浮いた年金記録、海上自衛隊補給艦「とわだ」の航海日誌の文書保存期間満了前の誤廃棄、防衛省の装備審査会議の議事録の未作成、C型肝炎患者の症例資料放置等々、国における文書管理の不適切さを示す事件が社会の耳目を集めた。また、民間においても一連の食品偽装問題が起きた。しかし、最も重要なのは、「行政文書・公文書の管理・保存に関する関係省庁連絡会議」が設けられたり、「公文書館推進議員懇談会」が緊急提言を行うなど、文書管理法制定の機運が急激に盛り上がってきたことである。当学会では、こうした動きにいち早く呼应し、「文書管理法（仮称）制定のための記録管理学会提言」を建議として関係各方面に情報発信した。12月3日、第2回アーカイブズ関係機関協議会における「文書管理法制定に向けて」の提案、12月17日にはARMA東京支部との合同で特別セミナー「公文書管理の法整備に向けて」を開催したことなどがその例である。

2007年9月26日に発足した福田政権は、2008年3月「公文書管理の在り方等に関する有識者会議」（座長：尾崎護氏）を設置、文書管理法制定の機運が一気に高まった。2008年7月、有識者会議が中間報告を取りまとめた際には、当学会としての意見書を提出した。8月15日であった。有識者会議は、11月に最終報告として『『時を貫く記録としての公文書管理の在り方』～今、国家事業として取り組む～』を提出した。これを受け、政府は2009年3月3日、「公文書等の管理に関する法律案（公文書管理法案）」を閣議決定後、国会へ提出した。

当学会がこれまでに行った3つの社会的提言の全文をここにまとめて掲げる。

- 資料 1. 文書管理法制定推進プロジェクト発足宣言
- 資料 2. 記録管理学会10の提言
- 資料 3. 公文書管理の在り方等に関する有識者会議「中間報告」に対する意見書

なお、2004年に公文書管理法大綱案が作成されたが、記録管理学会としては理事有志による非公式なものとして位置づけられているので、本誌には採録しなかった。（石井幸雄）

文書管理法制定推進プロジェクト発足宣言

2005 年6 月24 日

記録管理学会

2001 年に施行された国の情報公開法は、その社会への浸透とともに、国・地方公共団体・民間企業やその他の組織体を問わず、透明性ある組織運営と関係者への説明責任の重要性についての認識のめざましい向上をもたらした。それと同時に、官公庁・民間を問わず、説明責任の遂行には、組織の内部における適切な記録管理が不可欠であることが明らかになってきた。その結果、記録管理に対する社会的な関心も、かつてないほどの高まりを示してきている。また、最近では、個人情報保護法が2005 年4 月1 日に全面施行された結果、社会生活のさまざまな側面で、情報と記録の管理の重要性が、人々の生活に密着した問題として、意識されるようになってきた。記録管理の組織的推進に向けた政治動向としては、去る3 月30 日に、福田康夫前官房長官を中心に、与党国会議員による公文書館制度強化推進議員連盟が発足した。

しかしながら、記録管理の専門的な見地を踏まえた、より立ち入った検討が必要である。公文書館制度に不可欠といわれる現用文書と非現用文書を包括的に制御する権限の設定については、なおその動向が不透明である。さらにもっとも大きな問題として、現用文書と非現用文書を包括的に制御する明確な法制度の不在ということがある。これは、日本の公文書館制度が世界的にみて遅れているといわれる一番の理由ともなっている。

記録管理学会では、かねてより日本の記録管理環境の向上を視野におき、日本において文書管理法を制定する必要性を訴えてきた。文書管理に関わる法律は、現用文書、非現用文書を包括的に制御するのはもちろん、文書主義による透明性ある行政運営および適切な政治判断の根本となるものであり、同時に国民にとっては情報と記録に関する快適な社会環境の整備を約束し、世界人権宣言第19 条がいうところの「情報アクセス権」を保証するものでなければならない。これを実現するためには、その前提とも言うべき情報と記録の適切な管理を確実に規定する文書管理法の制定は不可欠である。

記録管理学会は、以上の理由で、日本に文書管理法制定を推進する必要性をここに宣言し、本日そのためのプロジェクトを発足させる。

以上

文書管理法（仮称）制定のための記録管理学会提言

2006年8月11日

1. 国の保有する文書は国民の共有財産であり、管理体制の確立が急務である。

国の保有する文書は、国民から信託された情報資産であり、現在および将来の国民の共有財産です。

したがって、このような文書の取り扱いに関しては、国の各機関では統一されたルールにもとづく統制のとれた運用が行われるべきです。機関ごとの固有で恣意的な管理方法は許されません。

したがって、速やかな文書管理体制の整備が必要となります。

2. 組織活動の透明性は、適正な文書管理により担保される。

国の各機関が実施する業務内容ならびにそこで作成、保存および管理される文書は、国民に対して開かれ、理解されやすいように、透明性を高めなければなりません。

そのためには、決裁文書のみでなく、業務プロセスや政策形成過程で作成される文書の保存および開示、あるいは一定期間経過後の機密指定の解除などが必要となります。

このような観点からすれば、適正な現用文書の管理および公文書館制度による非現用文書の保存は、民主主義の基盤です。

3. 文書管理の目的は説明責任を果たすことにある。

情報公開制度は、国が現在および将来の国民に対して説明責任を果たすためのものであり、「情報公開法と行政文書の管理は車の両輪である」といわれます。

しかしながら、これまで文書管理と説明責任の関係は明らかにされていないばかりか、情報公開法施行後には「文書不存在」の問題が多発しています。

このような問題を解決し、説明責任を十分に果たすために、文書管理が適切に行われることを明確に定める文書管理法の制定が必要です。

4. 文書管理の国際標準 ISO 15489 (JIS X0902) の理念、考え方を取り入れる。

文書管理の分野でも、グローバル・スタンダードに則した考え方が必要です。そのためには記録管理の国際標準 ISO15489 (JIS X0902) を十分に尊重し、既存の文書管理改善の場に役立てることが望まれます。

例えば、標準では、文書の品質として、真正性、信頼性、完全性、利用性の4つの特性をあげ、これらの要件を満たすものでなければならないとしています。

5. 国の電子政府構想 [IT新改革戦略(2006~2010年)]と電子文書管理との連動をはかる。

2010年を展望した国の新しい情報政策が打ち出されました。

効率的かつ効果的な電子政府を構築するうえには、電子情報すなわち電子文書の管理が不可欠のものです。

電子文書の長期保存やデジタルアーカイブ推進、そして情報セキュリティを含む電子文書管理が具体的に盛り込まれる必要があります。

その前提として、電子政府構想推進の必要要件に、文書管理を位置づけるよう明記することが重要です。

6. 文書管理制度を管轄する専門機関を明確化する。

適切な文書管理を確実にを行うためには、現用から非現用まで、国の各機関の文書管理を中立的な立場より一元的に指導・支援し、監督・監査する専門機関を明らかにする必要があります。

米国国立公文書館・記録管理庁、中国中央档案馆国家档案局などが参考になります。

7. 文書管理を推進する専門職体制を確立する。

現用文書の段階では、国の各機関にレコードマネジャー、非現用文書の段階ではアーキビストが必要となります。

この場合、専任の専門職の配置が必須であり、現在のような兼務体制は選べるべきです。そして両分野の専門職同士が連携を取ることで、一元的な管理が可能となります。

専門職体制の確立のためには、公的な資格制度の整備が望まれます。

8. 文書管理に関する教育研修を充実する。

国のレコードマネジャーおよびアーキビストの養成を行うために、国または外部の文書管理専門機関によって教育研修を充実強化します。具体的には、階層別（管理職、専門職、一般職）、分野別（基本コース、電子文書コース、歴史資料コース、情報公開法コースなど）に、計画的に文書管理教育プログラムを作成し受講を義務づけます。

9. 文書管理の適正な運用を妨げる行為に対しては、罰則を設ける。

法令順守（コンプライアンス）が重要な課題になっている今日では、組織防衛、危機管理や業務継続において大切な鍵となる文書の証拠能力が問われることとなります。

証拠として保存される文書は、正当な手続きにより作成され、真正で完全な文書でなければなりません。

したがって、文書作成義務を完全に履行しなかったり、適正な手続きを踏まず故意または過失で文書を廃棄する行為には、罰則を適用します。

10. 地方公共団体の文書管理について、国の法律を準用する旨を明記する。

地方公共団体の文書管理についても、国の法律の趣旨にのっとり、必要な施策の策定、実施に努めるよう義務づけます。

以上

「中間報告」に対する記録管理学会の意見

記録管理学会 会長 小谷允志

当学会が提唱してきた「文書管理法制定のための記録管理学会提言」10項目に照らして述べると、今回の中間報告は大変評価できる。例えば「文書は国民の共有財産であり、管理体制の確立が急務である」、「政策決定過程で作成される文書を含め適正な現用文書の管理及び公文書館制度による非現用文書の保存は民主主義の基盤」、「文書管理の目的は説明責任を果たすこと」、「国の各機関の文書管理を一元的に管轄する専門機関の明確化」、「専門職体制の確立」、「教育研修の充実」など当学会の提言内容が取り入れられている。ただ当学会が「電子政府構想の必要要件に文書管理を位置づける」などとした電子文書管理の具体的な進め方については十分でなく、今後の課題として残ると考える。また法制化に当たり罰則を盛り込むことへの言及がなかった点、地方自治体の文書管理体制強化への要請が不明確な点は残念である。字数の制限があるため、以下、今後の課題として最重要と考える専門職体制確立のテーマに絞って当学会の意見を述べたい。

【基本的な考え方】

公文書管理法が仮に制定されたとしても、これを基に実際の文書管理を実行する体制が弱体ならば、画に描いた餅になりかねない。中間報告で示された理念及びゴールド・モデルといったルールを実際に推進・実施し、成果が上げられるかどうかは、文書管理専門職体制がその鍵を握っている。

【文書管理専門職体制作りの留意点】

- 1、文書管理専門職（レコードマネジャー）は文書・記録管理そのものの専門知識のみならず関連部門と連携を取るコーディネーターとしてのマネジメント能力など幅広い能力が求められる。例えばレコードマネジャーはIT専門家あるいは情報公開担当者等と連携を取りながら、各課の相談に乗り、支援を行なうといった役割が重要となる。
- 2、文書管理専門職（レコードマネジャー・アーキビスト）は公文書管理担当機関及び各国の機関の双方に配置され、両者の間で適当な時期に交代することで相互に経験をつみ、能力向上につながられる体制が望まれる。
- 3、文書管理専門職（レコードマネジャー・アーキビスト）は従来の伝統的なローテーション人事慣行の枠を超えた取組みが必要である。つまり2～3年で全く別な業務や部門へ異動するゼネラリスト型のパターンではなく、長期的に専門職としての道が歩めるようなスペシャリスト用の人事コースを設定する。同時にプロフェッショナルとして、それにふさわしい処遇を行なう仕組みにすべきである。
- 4、文書管理専門職を、大学等で教育・養成する必要性を明確化すべきである。

以上

第 11 章 記録管理学会 10 年表 2000-2009

- ここでは、例会、大会等の会合開催、ニュースレター、機関誌『レコード・マネジメント』の発行、社会的提言の発表の各項目を時系列に示した。
- 会長と事務局長を役員改選の大会に揃えて記載した。
- 会合の開催地は、県庁所在地名を県・府を省略した形で、東京都は東京都〇区のように、と表記した。

年／月／日 (刊期は奥付表示)	項 目	会 長	事務局長
2000/1 2000/3/14	『RMS News Letter』No. 9 発行 第 76 回例会開催 於：リコー銀座事業所（東京都中央区）	1999.05～ 壺阪龍哉	1999.05～ 末廣恒夫
2000/3/15 2000/4	『レコード・マネジメント』No.40 発行 『RMS News Letter』No. 10 発行		
2000/5/26-27	2000 年通常総会・2000 年研究大会開催 於：龍谷大学深草キャンパス（京都）		
2000/7 2000/9/30	『RMS News Letter』No. 11 発行 第 77 回例会開催 於：帝塚山大学住吉校（大阪）		
2000/10/6	第 78 回例会開催 於：板橋区公文書館（東京都板橋区）		
2000/10 2000/11/15	『RMS News Letter』No. 12 発行 第 79 回例会 於：日本銀行金融研究所（東京都中央区）		
2000/11/15 2000/12/15	『レコード・マネジメント』No.41 発行 第 80 回例会開催 於：金葉酒家（東京都港区）		
2001/1 2001/2/17	『RMS News Letter』No. 13 発行 第 81 回例会開催 於：レミントンマイクロ（大阪）		
2001/3/31 2001/4	『レコード・マネジメント』No.42 発行 『RMS News Letter』No. 14 発行		
2001/5/25-26 2001/7/13	2001 年通常総会・2001 年研究大会開催 於：海外職業訓練協会研修センター（千葉） 第 82 回例会開催 於：石川特殊特急製本（大阪）		
2001/7 2001/8/24	『RMS News Letter』No. 15 発行 第 83 回例会開催 於：日本新聞博物館（横浜）		
2001/9/7	第 84 回例会開催 於：内田洋行大阪支店（大阪）		
2001/10 2001/11/30	『RMS News Letter』No. 16 発行 『レコード・マネジメント』No.43 発行		
2001/12/21	第 85 回例会開催 於：南青山会館（東京都港区）		

年/月/日	項 目	会 長	事務局長
2002/1/11	第 86 回例会開催 於：近畿大学中央図書館（東大阪市）		
2002/1	『RMS News Letter』No. 17 発行		
2002/2/15	第 87 回例会開催 於：兵庫県民会館（神戸）		
2002/2/16	第 88 回例会開催 於：東京国立博物館資料館（東京都台東区）		
2002/3	『RMS News Letter』No. 18 発行		
2002/3/31	『レコード・マネジメント』No.44 発行		
2002/5/31-6/1	2002 年通常総会・2002 年研究大会開催 於：中央大学駿河台記念館（東京都千代田区）		
2002/7/19	第 89 回例会開催 於：電気の資料館（横浜）		
2007/7/27	第 90 回例会開催 於：近畿大学会館（大阪）		
2002/7	『RMS News Letter』No. 19 発行		
2002/9/4	第 91 回例会開催 於：松竹大谷図書館（東京都中央区）		
2002/9/20	第 92 回例会開催 於：大阪府立女性総合センター（大阪）		
2002/10	『RMS News Letter』No. 20 発行		
2002/11/30	『レコード・マネジメント』No.45 発行		
2003/1	『RMS News Letter』No. 21 発行		
2003/3/15-16	特別例会開催 於：関西大学飛鳥文化研究所（奈良県高市郡明日香村）		
2003/3/31	『レコード・マネジメント』No.46 発行		
2003/4	『RMS News Letter』No. 22 発行		
2003/5/30-31	2003 年通常総会・2003 年研究大会開催 於：福岡電気ビル（福岡）	2003.05～ 小谷允志	2003.05～ 細井守
2003/7	『RMS News Letter』No. 23 発行		
2003/8/23	第 93 回例会開催 於：富士フィルム大阪支社（大阪）		
2003/9/6	第 94 回例会開催 於：堀内カラー・アーカイブサポートセンター（大阪）		
2003/9/30	第 95 回例会開催 於：アット東京（東京都江東区）		
2003/10/24	第 96 回例会開催 於：東京都写真美術館（東京都目黒区）		
2003/11/29	第 97 回例会開催 於：大阪樟蔭女子大学（東大阪市）		
2003/10	『RMS News Letter』No. 24 発行		
2004/1/24	第 98 回例会開催		

年/月/日	項目	会長	事務局長
2004/1	於：大阪市立浪速人權センター（大阪） 『RMS News Letter』No. 25 発行		
2003/2/13	第 99 回例会開催		
2004/3/31	於：電気の資料館・文書館（横浜） 『レコード・マネジメント』No.47 発行		
2004/4/24	第 100 回例会開催 於：京都大学文書館（京都）		
2004/4	『RMS News Letter』No. 26 発行		
2004/5/28-29	2004 年通常総会・2004 年研究大会開催 於：農林水産省共済組合 南青山会館（東京都港区）		
2004/7/7	第 101 回例会開催 於：資生堂本社（東京都中央区）		
2004/7/26	第 102 回例会開催 於：キヤノン本社（東京都大田区）		
2004/7	『RMS News Letter』No. 27 発行		
2004/8/19	特別例会開催 於：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）		
2004/9/7	第 103 回例会開催 於：ファイザー本社服飾博物館（東京都渋谷区）		
2004/9/18	第 104 回例会開催 於：国立民族学博物館（大阪府吹田市）		
2004/10/10	『レコード・マネジメント』No.48 発行		
2004/10	『RMS News Letter』No. 28 発行		
2004/12/17	第 105 回例会開催 於：九段会館（東京都千代田区）		
2005/1/31	第 106 回例会開催 於：九段会館（東京都千代田区）		
2005/1	『RMS News Letter』No. 29 発行		
2005/3/23	第 107 回例会開催 於：九段会館（東京都千代田区）		
2005/3/31	『レコード・マネジメント』No.49 発行		
2005/4	『RMS News Letter』No. 30 発行		
2005/5/13-14	2005 年通常総会・2005 年研究大会開催 於：京都大学 100 周年時計台記念館国際交流ホール（京都）	2005.05～ 小谷允志	2005.05～ 関野陽一
2005/5/28	第 108 回例会開催 於：国立国際美術館（大阪）		
2005/6/24	文書管理法（仮称）制定推進プロジェクト発足宣言		
2005/7	『RMS News Letter』No. 31 発行		
2005/8/3	第 109 回例会開催 於：アド・ミュージアム東京（東京都港区）		
2005/10/25	第 110 回例会開催 於：南青山会館（東京都港区）		
2005/10	『RMS News Letter』No. 32 発行		

年/月/日	項 目	会 長	事務局長
2005/12/1 2006/1/18	『レコード・マネジメント』No.50 発行 第 111 回例会開催 於：南青山会館（東京都港区）		
2006/1 2006/3/25	『RMS News Letter』No. 33 発行 第 112 回例会開催 於：富士ゼロックス（大阪）		
2006/3/28	第 113 回例会開催 於：九段会館（東京都千代田区）		
2006/3/30 2006/4 2006/5/19-20	『レコード・マネジメント』No.51 発行 『RMS News Letter』No. 34 発行 2006 年通常総会・2006 年研究大会開催 於：横浜文化センター（横浜）		
2006/7 2006/8/11 2006/9/1	『RMS News Letter』No. 35 発行 文書管理法（仮称）制定のための記録管理学会提言 出版記念セミナー：記録管理学会・日本アーカイブズ学会共催		
2006/9/8	第 114 回例会開催 於：九段会館（東京都千代田区）		
2006/9/28	第 115 回例会開催 於：清水建設技術研究所（東京都江東区）		
2006/10/6	第 116 回例会開催 於：奈良県立図書館情報館（奈良）		
2006/10 2006/12/18 2006/12 2007/1 2007/3/2	『RMS News Letter』No. 36 発行 『レコード・マネジメント』No.52 発行 『RMS News Letter』No. 37 発行 『RMS News Letter』No. 38 発行 第 117 回例会開催 於：日産自乗車横浜工場（横浜）		
2007/4/6	第 118 回例会開催 於：国立情報学研究所（東京都千代田区）		
2007/4/30 2007/6/8-9	『レコード・マネジメント』No.53 発行 2007 年通常総会・2007 年研究大会開催 於：静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館（静岡県浜松市）		
2007/7 2007/8/31 2007/10/29	『RMS News Letter』No. 39 発行 第 119 回例会開催 於：国立情報学研究所（東京都千代田区） 第 120 回例会開催 於：帝国データバンク（東京都新宿区）	2007.06～ 小谷允志	2007.06～ 関野陽一
2007/10 2007/12/3 2007/12/17 2007/12/25	『RMS News Letter』No. 40 発行 第 2 回アーカイブズ関連機関協議会において「文書管理法制定に向けて」の提案 第 121 回例会開催 於：南青山会館（東京都港区） 『レコード・マネジメント』No.54 発行		

年/月/日	項 目	会 長	事務局長
2008/1 2008/4/23	『RMS News Letter』 No. 41 発行 第 122 回例会開催 於：中央大学駿河台記念館（東京都千代田区）		
2008/4 2008/5/30 2008/6/13-14	『RMS News Letter』 No. 42 発行 『レコード・マネジメント』 No.55 発行 2008 年通常総会・2008 年研究大会開催 於：学習院大学目白キャンパス創立 100 周年記念館（東京都豊島区）		
2008/7 2008/8/15	『RMS News Letter』 No. 43 発行 「公文書管理の在り方等に関する有識者会議」の中間報告に対する意見書提出		
2008/10/17	第 123 回例会開催 於：国立情報学研究所（東京都千代田区）		
2008/10 2008/11/22	『RMS News Letter』 No. 44 発行 第 124 回例会開催 於：大阪大学中之島センター（大阪）		
2008/12/13-14	第 125 回例会開催 於：関西大学六甲山荘（神戸）		
2008/12/30 2009/1 2009/3/27	『レコード・マネジメント』 No.56 発行 『RMS News Letter』 No. 45 発行 第 125 回例会開催 於：南青山会館（東京都港区）		
2009/4 2009/5/29-30	『RMS News Letter』 No. 46 発行 2009 年通常総会・20 周年記念研究大会 2009 開催 於：農林水産省共済組合 南青山会館（東京都港区）		

第12章 歴代理事担当一覧

- HP掲載のニューズレターの記述から採録した。
- 担当が不存在の場合は空欄とした。

年次→ ／↓担当	1999-2000	2001-2002	2003-2004	2005-2006	2007-2008
会長	壺阪龍哉	壺阪龍哉	小谷允志	小谷允志	小谷允志
副会長	小谷允志	小谷允志	小川千代子	小川千代子	小川千代子
事務局長	末廣恒夫	桜井史郎	細井守	関野陽一	関野陽一
会計	細井守	細井守	桜井史郎	伊藤充	伊藤充
学会誌	桂啓壮	桂啓壮	朝日崇	朝日崇	朝日崇
ニューズレター	松本優	松本優	松本優	松本優	松本優
大会	小川千代子	小川千代子	小川千代子	黒済晃	黒済晃
例会	関野陽一	中島めぐみ	黒済晃	黒済晃	黒済晃
プロジェクト			壺阪龍哉 (文書管理法推進) 小川千代子 (RMSAP)	山崎久道 (企業文書管理)	(壺阪龍哉 専門職養成問題、理事ではない)
研究支援	尾上宏	山崎久道	山崎久道	小川千代子	八重樫純樹
Web	浜田行弘	浜田行弘	浜田行弘	村岡正司	村岡正司 古賀崇
組織広報 渉外			壺阪龍哉*		西川康男
国際					古賀崇
関西	田窪直規	城下直之	城下直之 布川圭子 (九州)	平塚詩徳	石井幸雄
無任所		高山正也	高山正也		
顧問	高山正也				
監事	古賀節子 末吉哲郎	古賀節子 関野陽一	関野陽一 中島めぐみ	中島めぐみ 桜井史郎	中島めぐみ 桜井史郎

第 13 章 『レコード・マネジメント』 著者名索引

- 『レコード・マネジメント』40号(2000年3月)～56号(2008年)に掲載された論文、研究ノート、発表記録、書評等の内容を、著者名および訳者名の五十音順に並べた。
- タイトル表記は目次よりも本文に掲載されたものを優先。
- 共著の場合、著者名表記の順番は掲載時のまま一括し整理し、該当著者名を**太字**で示した。
- 同一著者に関しては「単著の掲載号順→共著→翻訳」として並べた。
- 外国人に関しては姓・名の順序に変えた。(例：アーイング、ラリー。但しキム・イクハンはそのまま)
- 翻訳に関し、訳者も索引にカウントした。(例：クック、テリー(塚田治郎訳)の場合、塚田は「つ」の項目に入れる)

	著者名	標題	号	頁
あ	アーイング, ラリー (加藤多恵子訳)	〈招待講演〉21世紀における情報専門職:役割、実践および挑戦	43	1
	浅野一弘	〈研究ノート〉日米首脳会談と文書:文言をめぐる政治的軋轢	42	53
	朝日崇	〈動向〉ISO23081-1、23081-2 について	56	106
	阿部純	〈学術エッセイ〉記憶と記録—2006年・第7回欧州アーカイブズ会議(ワルシャワ)を見学して	52	115
	安藤正人	〈研究ノート〉アジアのアーキビスト教育:最近の状況	40	27
	安藤正人 ・小谷允志・高埜利彦・高山正也・松岡資明	〈出版記念セミナー〉パネルディスカッション「記憶と記録を未来にどう残すのか」	52	86
い	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・ 石井敬三 ・宮本貴朗・山野美賛子	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	石井幸雄	〈書評〉Abigail J.Sellen; Richard H.R. Harper『ペーパーレスオフィスの神話:なぜオフィスは紙であふれているのか?』	56	120
	石津孝義	〈研究ノート〉知識経済時代に向けての日本再生と図書館の役割	46	33
	逸村裕	〈研究ノート〉新しい情報ネットワークコミュニティと情報専門職	40	42
	伊藤勝久	〈研究発表〉企業アーカイブズは社員の自信と誇りの源	52	43
	伊藤充	〈書評〉長谷川俊明『新会社法が求める内部統制とその開示 第2版』	52	127
	山崎久道・黒済晃・ 伊藤充	〈研究発表〉わが国企業の文書管理の現状と課題に関する考察—製造企業に対するインタビュー調査を通して—	52	48
い	伊戸川暁	〈研究発表論文〉電子文書の長期的保管のための枠組	41	19
	今井敬子	〈研究ノート〉『日本占領下のマラヤ 1941—1945』におけるアーカイブズの利用	53	3
	岩下ゆうき	〈学術エッセイ〉豪州・モナッシュ大学におけるレコードキーパー／アーキビスト教育	54	56
う	魚住真司	〈論文〉アメリカにおけるテレビニュースアーカイヴの試練:「CBS 対 Vanderbilt」事件と「Baker 修正」に見るテレビニュース保存・公開への法理	42	22
	宇賀克也	〈特別講演会〉文書管理法(仮称)の制定に向けて	56	19
お	杉山和稔・高尾肇	〈研究発表論文〉放射性廃棄物地層処分における記録保存の検	45	1

お	大内仁・松原望	討			
	大蔵綾子	〈文献紹介〉井上真琴『図書館に訊け!』	49	118	
	大蔵綾子	〈論文〉わが国の公立学校における制度としての文書管理の現状と課題	55	13	
	大蔵綾子	〈論文〉わが国の公立学校における記録管理の人的側面をめぐる現状と課題	56	34	
	大谷康晴	〈論文〉行政情報の公開と図書館	40	1	
	大村英正	〈論文〉企業史料を考える	48	11	
	岡本昌也	〈研究ノート〉IT 時代に求められるマイクロシステムの新しい役割: 電子アーカイブプレコーディングシステムの紹介	45	41	
	小川千代子	〈文献紹介〉大石学著『徳川吉宗・国家再建に挑んだ將軍』	43	64	
	小川千代子	〈研究発表論文〉ISAD(G)の実装: アジア歴史資料センターの階層検索システム	45	10	
	小川千代子	〈学術エッセイ〉アウシュビッツ: ポーランドの世界遺産	52	106	
	鈴木文子・八重樫純樹・小川千代子	〈研究発表論文〉地方自治体の合併に伴う文書管理の諸問題ー静岡市と清水市の合併を例としてー	47	42	
	奥村健治	〈研究発表〉企業史としての記録保存と活用	52	37	
	尾崎護	〈大会特別講演〉情報公開と公文書管理	56	10	
小原由美子	〈書評〉記録管理学会・日本アーカイブズ学会共編『入門・アーカイブズの世界: 記憶と記録を未来に: 翻訳論文集』	53	126		
か	カーリン, ジョン W. (小谷允志・古賀崇訳)	〈特別寄稿〉NARA とともにーわが戦略計画と成果ー	50	3	
	柿崎康男	〈研究ノート〉マイクロ写真士から文書情報管理士へ	44	59	
	柿崎康男	〈文献紹介〉JiIMA の活動と AIIM 白書『コンテンツ管理』『可用性と保存』	47	65	
	柿崎康男	〈書評〉ビジネス機会情報システム産業協会ドキュメントマネジメントシステム部会『内部統制のカギを握る文書管理システム導入のすすめ』	53	121	
	加瀬大	〈書評〉全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイヴズ』	53	129	
	加藤多恵子	〈研究発表論文〉現代日本の公共政策に関する資料とその収集	41	33	
	アーイング, ラリー (加藤多恵子訳)	〈招待講演〉21 世紀における情報専門職: 役割、実践および挑戦	43	1	
	加藤陽子	〈例会・大会特集〉何のための記録保存かー組織の証拠と記録	50	80	
	金澤勇二	〈研究ノート〉デジタル情報の長期保存に関する問題点とマイクロフィルムの位置づけ	46	21	
	金子康樹	〈論文〉統計数値メタデータのデータ要素と表現の標準化	45	55	
	高山正也・神村昌代	〈研究発表論文〉雑誌記事に見る日米の知識管理論の相違	43	15	
	き	岸田和明	〈文献紹介〉三輪真木子『情報検索のスキル』	48	100
		木方幸久	〈特別寄稿〉移管基準の改正と公文書館制度について	51	71
キム・イクハン		〈特別寄稿〉記録の属性とメタデータ標準を通して見る韓国の記録管理技術	51	58	

き	キム・イクハン	〈特別寄稿〉DIRKS-Manual の実用的適用	53	28
	金容媛	〈研究ノート〉韓国の知識情報資源管理法	42	43
	木本幸子	〈研究発表論文〉電子ジャーナルの現状と問題点:電子ジャーナルは定着するののか?	43	28
く	クック, テリー(塚田治郎訳)	〈翻訳〉過去は物語の始まりである: 1898 年以降のアーカイブズ観の歴史と未来へのパラダイム・シフト(上)	48	63
	クック, テリー(塚田治郎訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉過去は物語の始まりである: 1898 年以降のアーカイブズ観の歴史と未来へのパラダイム・シフト(下)	49	83
	栗岡久幸・黒済晃	〈研究発表〉ヤマハの歴史と経営システムの変遷からみた企業文化と記録管理	54	41
	黒済晃	〈論文〉近年の法的規制・自主規制が文書管理に与える影響ー医薬品企業の場合ー	48	29
	黒済晃	〈書評〉武田晴人『世紀転換期の起業家たちー百年企業への挑戦』・岡崎哲二『経済史の教訓ー危機克服のカギは歴史の中にあり』	51	106
	黒済晃	〈書評〉外岡秀俊『情報のさばき方ー新聞記者の実戦ヒント』・朝日新聞社編、コーディネイト・佐田智子『新聞なんていらぬ!?ー記者たちの大学講義』	53	133
	山崎久道・黒済晃・伊藤充	〈研究発表〉わが国企業の文書管理の現状と課題に関する考察ー製造企業に対するインタビュー調査を通してー	52	48
	栗岡久幸・黒済晃	〈研究発表〉ヤマハの歴史と経営システムの変遷からみた企業文化と記録管理	54	41
こ	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	古賀崇	〈論文〉アメリカ連邦政府における情報資源管理政策の変遷ー書類作成軽減の手段から電子政府の基盤へー	40	9
	古賀崇	〈論文〉アメリカ連邦政府の Web サイト運営:政策的基盤と課題	42	5
	古賀崇	〈研究ノート〉インベーションとしての記録管理:アメリカ連邦政府の取り組みから	45	46
	古賀崇	〈文献紹介〉アリスター・ブラック、ロドニー・プラント共著『ビジネス、図書館、イギリス軍諜報局における情報管理:情報管理史に向けての考察』	47	60
	古賀崇	〈書評〉岡本哲和『アメリカ連邦政府における情報資源管理政策:その様態と変容』	48	91
	古賀崇	〈論文〉「Continuum としての政府情報」と記録管理:「政府情報論」の構築に向けての試論	49	57
	古賀崇	〈書評〉健康情報棚プロジェクト編『からだと病気の情報をさがす・届ける』	50	112
	古賀崇	〈出版記念セミナー〉『入門・アーカイブズの世界』の入門:翻訳・編集担当者が語る本書のポイント	52	76
	古賀崇	〈例会特集〉レコードキーピングをめぐる一考察:マケミッシュ、クックの論考をもとに	53	89
	古賀崇	〈学術エッセイ〉Angelika Menne-Haritz 博士による東京外国語大	53	108

こ		学 2006 年度特別講義「現代社会の中のアーカイヴズ」を受講して		
	カーリン, ジョン W. (小谷允志・古賀崇訳)	<特別寄稿> NARA とともに一わが戦略計画と成果一	50	3
	小坂肇	<論文>博物館資料の簡易デジタル化手法に関する考察:戦時資料の事例を中心として	44	35
	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子	<研究発表論文>中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	小谷允志	<文献紹介>辰巳渚著『捨てる!技術』	42	67
	小谷允志	<研究発表論文>国際標準から見た日本の文書管理の課題: IS015489 の意味するもの	45	26
	小谷允志	<研究発表論文>組織の倫理と記録管理	47	3
	小谷允志	<展望インタビュー>新しいレコード・マネジャーの役割論	48	54
	小谷允志	<文献紹介>William SAFFADY. Records Information Management: A Benchmarking Study of Large U.S. Industrial Companies, ARMA International 2002	48	101
	小谷允志	<論文>記録管理のパラダイムシフト	50	40
	高橋滋・橋本浩典・小谷允志・松岡資明	<記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー>パネルディスカッション「公文書管理の法整備に向けて」	55	73
	マイバーク, スー (小谷允志訳)	<外国文献紹介(翻訳)>競争力を生む知識:組織の壁を乗り越えて	49	102
	カーリン, ジョン W. (小谷允志・古賀崇訳)	<特別寄稿> NARA とともに一わが戦略計画と成果一	50	3
	児玉優子	<研究ノート>米国の動態画像アーカイブ(moving image archive)	52	3
	後藤仁	<例会・大会特集>中間書庫制度の実現に向けて:神奈川県のを例を中心に	50	76
	小林年春	<論文>「史料を読む」考	46	1
	小林秀之	<大会特別講演>記録管理のコンプライアンスと証拠収集	54	22
	今野篤	<論文>国立国会図書館におけるバックージ系電子出版物利用可能性調査について	50	30
さ	税所哲郎	<論文>情報システム会社におけるデータフローモデル構築による情報共有化と電子記録管理	43	48
	坂口貴弘	<研究発表論文>記録連続体の理論とその適用一記録の評価選別における機能分析プロセスを例に一	47	15
	坂口貴弘	<書評>ジュリー・マクロード、キャサリン・ヘア、ラスナー・ヨヘア『電子記録管理のための教育・研修:望ましいモデルをめぐる調査研究』	48	96
	坂口貴弘	<論文>オーストラリア連邦政府のレコードキーピング:リテンション・スケジュールと記録処分規定の比較を通して	49	39
	坂口貴弘	<動向>専門職の資格認定制度はどうあるべきか:諸外国の動向に学ぶ	55	90

さ	坂口貴弘	〈動向〉電子記録管理におけるメタデータの特質	56	75
	佐藤研司	〈基調講演〉いかに情報を使いこなすのかー情報過多時代における情報の活用ー	41	1
	佐藤正三郎	〈文献紹介〉大濱徹也著『アーカイブズへの眼ー記録の管理と保存の哲学ー』	55	115
し	篠原久姫子	〈2000 年度研究助成報告〉大学の研究者と情報共有	42	72
	嶋田晋	〈文献紹介〉 Holsapple, C.W. Joshi, K.D. "Knowledge manipulation activities: results of a Delphi study" Information & Management Vol.39, p. 477-490 (2002) (邦題:C.W.ホレスアップル・K.D.ジョシ共著「知識操作活動:デルファイ調査の結果」)	45	75
		島津忠弘	〈記録管理をめぐる連載エッセイ〉(第 5 回)分類とナレッジ・マネジメント	40
	清水恵枝	〈研究ノート〉公文書館の概念変化についてー歴史資料の保存庫から情報公開の窓口へー	54	30
	城下直之	〈記録管理をめぐる連載エッセイ〉(第 6 回)情報管理と記録管理	41	43
	新祐介	〈研究ノート〉記録を後世へ残すー記録の永続的保存と活用	51	37
す	末吉哲郎	〈講演記録〉実業家アーカイブズー日本工業倶楽部プロジェクトについてー	48	49
	菅野育子	〈論文〉「資料(情報源)に関する情報」のための国際標準化	46	14
	杉山和稔・高尾肇・大内仁・松原望	〈研究発表論文〉放射性廃棄物地層処分における記録保存の検討	45	1
	鈴木文子・八重樫純樹・小川千代子	〈研究発表論文〉地方自治体の合併に伴う文書管理の諸問題ー静岡市と清水市の合併を例としてー	47	42
	ステーブンス, デイビット	〈特別寄稿〉今、明らかになる! 米国 SOX 法の光と影ー文書管理を中心に	53	61
	せ	関野陽一	〈文献紹介〉山崎久道著『専門図書館経営論 情報と企業の視点から』	40
関野陽一		〈文献紹介〉豊田恭子他著『専門図書館のマネジメント』	42	70
関野陽一		〈文献紹介〉『企業史料協議会 20 年史』	48	104
関野陽一		〈文献紹介〉近江哲史『図書館に行ってくるよ:シニア世代のライフワーク探し』	49	112
関野陽一		〈文献紹介〉企業史料協議会制作部会編『ビジネスアーカイブズ入門ガイド』	53	139
た		杉山和稔・高尾肇・大内仁・松原望	〈研究発表論文〉放射性廃棄物地層処分における記録保存の検討	45
	高島正憲	〈編集者への手紙〉「アーカイブって何?」ーアーカイブの多様性について考えるー	56	3
	高野修	〈論文〉情報公開時代における地方自治体の文書管理と史料保存の課題	40	17
	安藤正人・小谷允志・高埜利彦・高山正也・松岡資明	〈出版記念セミナー〉パネルディスカッション「記憶と記録を未来にどう残すのか」	52	86
	高橋滋	〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉文書管理のための法整備について:「公文書管理法研究会」要綱案の紹介	55	48
	高橋滋・橋本浩典・	〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉パネルディス	55	73

た	小谷允志・松岡資明	カッション「公文書管理の法整備に向けて」		
	高山正也	〈例会・大会特集〉記録管理の定着に向けての記録管理学会特別例会の終了に際して	50	74
	高山正也 ・神村昌代	〈研究発表論文〉雑誌記事に見る日米の知識管理論の相違	43	15
	安藤正人・小谷允志・高埜利彦・ 高山正也 ・松岡資明	〈出版記念セミナー〉パネルディスカッション「記憶と記録を未来にどう残すのか」	52	86
	田窪直規	〈論文〉国際標準記録史料記述一般原則：ISAD(G) (General International Standard Archival Description) -その基本構造・考え方と問題点-	44	1
	田窪直規	〈報告ノート〉韓国の国史編纂委員会と韓国歴史情報統合システムについて	51	48
	武田晴人	〈展望インタビュー〉企業史料に関わってきて	48	57
	多田一男	〈研究ノート〉『レコード・マネジメント』誌の現在の課題と今後に向けての対策案:掲載記事と著者の分析を通じて	44	71
	田中康雄	〈研究ノート〉文書館所在情報の状況調査	40	35
	田引淳子	〈研究ノート〉病院図書館における医学情報管理と提供:患者中心の医療のために	46	53
	田引淳子	〈研究ノート〉医療の質を高める記録管理-診療情報と医学情報の活用-	55	36
つ	塚田治郎	〈書評〉国際アーカイブズ評議会建築記録部会編 安澤秀一訳・編『建築記録アーカイブズ管理入門』	52	123
	塚田治郎	〈書評〉小谷允志『今、なぜ記録管理なのか=記録管理のパラダイムシフト』	56	115
	クック, テリー(塚田治郎訳)	〈翻訳〉過去は物語の始まりである:1898年以降のアーカイブズ観の歴史と未来へのパラダイム・シフト(上)	48	63
	クック, テリー(塚田治郎訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉過去は物語の始まりである:1898年以降のアーカイブズ観の歴史と未来へのパラダイム・シフト(下)	49	83
	ワロー, ジャン=ピエール(塚田治郎訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉現在の歴史を生きた記憶として刻印する-アーカイブズ評価選別の新しい視点-	50	51
	辻川 敦	〈論文〉アーカイブズ私論	50	20
	壺阪龍哉	〈特別寄稿〉21世紀の幕開けと記録管理	42	1
	壺阪龍哉	〈研究発表〉文書管理法(仮称)制定をめぐる諸活動と今後の課題	52	30
	壺阪龍哉	〈書評〉山下貞麿『たかが文書、されど文書管理-企業の存亡を左右する文書管理-』	53	117
と	戸田光昭	〈文献紹介〉Robert Gitler and the Japan Library School: An autobiographical narrative. Robert L. Gitler. Edited by Michael Buckland.	41	49
	戸田光昭	〈文献紹介〉植村達男著『ある情報探索人の手記』	44	83
	戸田光昭	〈文献紹介〉村橋勝子著『社史の研究』	46	63
	富岡麻理	〈研究ノート〉貴重書のデジタル化:「グーテンベルク聖書」の事例	44	49
	富坂敏子 ・小池利	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利	41	8

と	栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子	利用者間情報共有への展望			
	豊田雄司	〈研究ノート〉工学部図書館の利用者アンケート 武蔵工業大学における事例	40	50	
な	中島めぐみ	〈書評〉緒方良彦・柴田亮介『情報センターの時代:新しいビジネス支援』	50	107	
	中島康比古	〈論文〉レコード・コンティニュームが問いかけるもの	49	20	
	中島康比古	〈論文〉レコードキーピングの理論と実践:レコード・コンティニュームと DIRKS 方法論	51	3	
	中島康比古	〈特別寄稿〉電子公文書等の長期保存ー国立公文書館の取組みを中心として	53	12	
	中島康比古	〈編集者への手紙〉『アーカイブズ:社会におけるレコードキーピング』を読みなが考えたこと	54	3	
	中島康比古	〈編集者への手紙〉「どんな勉強をしたら、アーキビストになれますか?」	55	3	
	中島康比古	〈例会特集〉人が記録と向き合うときー大文字の記録だけではなくー	56	58	
	長塚隆	〈書評〉谷口祥一・緑川信之『知識資源のメタデータ』	54	91	
	中村恵信	〈記録管理をめぐる連載エッセイ〉(第7回)図書館と文書館の位相	42	62	
	仲本和彦	〈学術エッセイ〉我が国において健全な文書館制度を確立するためにーアメリカから学んだことー	54	49	
	仲本和彦	〈書評〉御厨貴編『オーラル・ヒストリー入門』	55	111	
	仲本和彦	〈動向〉アメリカ国立公文書館の目録寸感	56	97	
	那須幸雄	〈論文〉記録管理としての知的生産の技術及びその展開	42	36	
	名和小太郎	〈文献紹介〉マシュー・パトルズ著、白須英子訳『図書館の興亡』	49	115	
	名和小太郎	〈特別講演〉著作物の寿命・著作権の寿命	52	23	
	の	野口幸生	〈論文〉人文科学電子テキストのレコード・マネジメント	43	39
	は	橋本浩典	〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉大阪市公文書管理条例の策定と課題	55	62
高橋滋・橋本浩典・小谷允志・松岡資明		〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉パネルディスカッション「公文書管理の法整備に向けて」	55	73	
長谷川俊明		〈特別寄稿〉日本版 SOX 法・新会社法:内部統制の課題と文書管理のあり方	53	74	
長谷川英重		〈論文〉EHRの普及をめざして	49	74	
浜田行弘		〈文献紹介〉ジュリアン・ウォーナー著 高山正也、柳与志夫監訳『本とコンピュータを結ぶ』	40	73	
浜田行弘		〈文献紹介〉『デジタルアーカイブ白書 2001』	43	67	
浜田行弘		〈研究ノート〉図書館・情報センターにおける知識の蓄積と共有の試み:米国議会図書館 CDRS、OCLC QuestionPoint と 24/7 サービス	45	69	
原田隆史		〈論文〉デジタル・アーカイブの現状と問題点	44	23	
ひ	東龍治	〈書評〉岡本真『これからホームページを作る研究者のためにーウェブから学術情報を発信する実践ガイド』	52	130	

ひ	平井尊士	〈文献紹介〉倉橋英逸・大城善盛・赤尾勝己・村上泰子共著『Web授業の創造:21世紀の図書館情報学教育と情報環境』	41	47
	平井良介	〈例会特集〉リコーの考えるCSR	51	81
	平田豊弘	〈研究発表論文〉市町村合併と行政文書の望ましい管理のあり方ー21世紀の地域創造と天草アーカイブズー	47	34
ふ	馮鶴旺	〈特別寄稿〉中華人民共和国記録管理業務状況および中国档案学会の現況報告	54	12
	福嶋紀子	〈論文〉行政の文書管理と文書館ー歴史的な説明責任の有無と記録ー	49	3
	福田都代	〈論文〉アメリカにおける図書館の fundraising と記録管理	42	13
	藤原静雄	〈例会・大会特集〉情報公開と文書管理	50	87
へ	編集委員会	〈編集委員会より〉年金記録問題に寄せて	54	66
	編集委員会	〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉『公文書管理の法整備に向けて』の記録の掲載にあたって	55	89
ほ	星合重男	〈展望インタビュー〉日本の企業博物館の動向について	48	60
	八木信幸・ 星野雅紀	〈研究ノート〉レコードセンター(中間書庫)の機能と役割	51	25
	細井守	〈文献紹介〉小川千代子著『世界の文書館』	41	51
	細井守	〈文献紹介〉金容媛著『図書館情報政策』	46	66
	細井守	〈文献紹介〉小川千代子他編著『アーカイブ事典』	47	55
ま	マイバグ、スー (小谷允志訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉競争力を生む知識:組織の壁を乗り越えて	49	102
	増田節雄	〈研究発表論文〉家族歴史記録の収集および活用ーインターネット上での情報共有化とその展望ー	41	38
	松井茂記	〈例会・大会特集〉情報公開と文書管理	50	93
	安藤正人・小谷允志・高埜利彦・高山正也・ 松岡資明	〈出版記念セミナー〉パネルディスカッション「記憶と記録を未来にどう残すのか」	52	86
	高橋滋・橋本浩典・小谷允志・ 松岡資明	〈記録管理学会・ARMA 東京支部合同特別セミナー〉パネルディスカッション「公文書管理の法整備に向けて」	55	73
	杉山和稔・高尾肇・大内仁・ 松原望	〈研究発表論文〉放射性廃棄物地層処分における記録保存の検討	45	1
	馬淵浩一	〈論文〉技術経営の視点から見た企業資料の記録保存の意義と情報再編集の場としての博物館	48	3
	三木由希子	〈例会・大会特集〉情報公開制度と文書管理のあり方	50	102
み	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・ 宮本貴朗 ・山野美賛子	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	牟田昌平	〈例会特集〉記録管理の果たす役割ー文化的・歴史的視点から	51	87
む	村上大輔	〈研究ノート〉地方自治体のアーカイブ業務の効率化ー文書管理の電子システム化を機会としてー	52	12
	村上篤太郎	〈書評〉三浦逸雄監修、根本彰ほか編集『図書館情報学の地平:50のキーワード』	51	102

む	村橋勝子	〈研究ノート〉社史の実態分析と情報源としての魅力	45	34
や	鈴木文子・八重樫純樹・小川千代子	〈研究発表論文〉地方自治体の合併に伴う文書管理の諸問題－静岡市と清水市の合併を例として－	47	42
	八木信幸・星野雅紀	〈研究ノート〉レコードセンター(中間書庫)の機能と役割	51	25
	柳衛悠平	〈書評〉小川千代子他『アーカイブを学ぶ:東京大学大学院講義録「アーカイブの世界」』	54	93
	山崎久道	〈書評〉三田図書館・情報学会編『図書館・情報学研究入門』	51	97
	山崎久道	〈書評〉高山正也先生退職記念論文集刊行会編『明日の図書館情報学を拓く:アーカイブズと図書館経営:高山正也先生退職記念論文集』	53	112
	山崎久道・黒済晃・伊藤充	〈研究発表〉わが国企業の文書管理の現状と課題に関する考察－製造企業に対するインタビュー調査を通して－	52	48
	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	山本順一	〈書評〉逸村裕、竹内比呂也編『変わりゆく大学図書館』	51	94
わ	フロー, ジャン=ピエール(塚田治郎訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉現在の歴史を生きた記憶として刻印する－アーカイブズ評価選別の新しい視点－	50	51

あとがき

本冊子、『続・データは語る—記録管理学会二十周年記念誌一』には、記録管理学会の2000年から2009年までの10年間のデータが収録されている。前回の『データは語る—記録管理学会10周年記念誌一』以来10年間のデータである。

本書の企画のねらいは、10周年記念誌の構成を踏襲しつつ、その後の10年間の特色を付加するところにおいた。ではその特色とはなにか。

この10周年から20周年に至る記録管理学会の10年間は、本会創設以来の懸案、文書管理法制の実現への道程と軌を一にするものであったといってもよい。特にこれを象徴する「データ」として、この間に発信した3つの社会的提言を収録した。

また、社会への発信ツールとして記録管理学会ホームページが設けられているので、これを「データ」として本誌に印刷形態により掲げた。機関誌『レコード・マネジメント』は国立情報学研究所のCiNiiシステムにより電子的なアクセスが確保されているが、そのアクセス手法については凡例並びに各章冒頭で説明を加えた。

時代は電子政府、ユビキタス社会へと移行している。この二十周年記念誌は紙媒体の冊子を印刷配布するとともに、近く電子媒体でホームページ上に掲示する。電子媒体の記録をどのように長期保存するのかという技術的な方策は、先端的な研究は進みつつあるようだ。だが、20周年記念事業の記念品としては紙媒体の方が好ましいということで2009年4月の学会理事会での意見一致を見た。本冊子の作成は、こうして決まったのである。願わくば、10周年記念誌同様、長く手元において役立てていただければ幸いである。

この記念誌作成は、2008年9月にたちあげた20周年記念事業プロジェクトチームが担当した。メンバーは石井幸雄（理事）、小川千代子（副会長、リーダー）、古賀崇（理事）、西川康男（理事）の4名であった。また、小谷允志（会長）、村岡正司（理事、ホームページ担当）、関野陽一（理事、事務局長）、朝日崇（理事、機関誌担当）、松本優（理事、ニュースレター担当）、黒済晃（理事、例会・大会担当）、櫻井史郎（監事）、中島めぐみ（監事）はじめ関係各位からの惜しみない協力を得た。

末筆ながら、10周年、20周年の2度にわたり筆者が記録管理学会記念誌の企画制作を担当する機会を与えられたことと共に、記して深甚の感謝を表します。

2009年5月

小川 千代子
(記録管理学会副会長)
(20周年記念事業担当)

各章のデータ収集担当者一覧（*印は協力者、五十音順、敬称略）

第1章	西川 康男、小川 千代子*
第2章	古賀 崇、西川 康男*
第3章	古賀 崇、西川 康男*
第4章	村岡 正司
第5章	松本 優、黒濟 晃*
第6章	石井 幸雄
第7章	古賀 崇
第8章	古賀 崇
第9章	小川 千代子
第10章	石井 幸雄
第11章	石井 幸雄
第12章	小川 千代子、櫻井 史郎*、関野 陽一*、松本 優*
第13章	古賀 崇

ぞく かた きろくかんりがっかいにじゅうしゅうねんきねんし
続・データは語る —記録管理学会二十周年記念誌—

2009年5月29日 発行

編集責任者 小川千代子（記録管理学会副会長、20周年記念事業担当）

発行者 記録管理学会

発行所 記録管理学会

事務局 関野陽一（事務局長）

〒354-0015 埼玉県富士見市東みずほ台2-24-8

©Kiroku Kanri Gakkai, 2009

Compiled Printed in Tokyo, Japan

印刷所 佐藤印刷株式会社 03-3404-2561 info@sato-insatu.co

む	村橋勝子	〈研究ノート〉社史の実態分析と情報源としての魅力	45	34
や	鈴木文子・八重樫純樹・小川千代子	〈研究発表論文〉地方自治体の合併に伴う文書管理の諸問題－静岡市と清水市の合併を例として－	47	42
	八木信幸・星野雅紀	〈研究ノート〉レコードセンター(中間書庫)の機能と役割	51	25
	柳衛悠平	〈書評〉小川千代子他『アーカイブを学ぶ:東京大学大学院講義録「アーカイブの世界」』	54	93
	山崎久道	〈書評〉三田図書館・情報学会編『図書館・情報学研究入門』	51	97
	山崎久道	〈書評〉高山正也先生退職記念論文集刊行会編『明日の図書館情報学を拓く:アーカイブズと図書館経営:高山正也先生退職記念論文集』	53	112
	山崎久道・黒済晃・伊藤充	〈研究発表〉わが国企業の文書管理の現状と課題に関する考察－製造企業に対するインタビュー調査を通して－	52	48
	富坂敏子・小池利栄子・小島篤博・石井敬三・宮本貴朗・山野美賛子	〈研究発表論文〉中尾佐助資料スライドデータベースの構築と利用者間情報共有への展望	41	8
	山本順一	〈書評〉逸村裕、竹内比呂也編『変わりゆく大学図書館』	51	94
わ	フロー、ジャン＝ピエール(塚田治郎訳)	〈外国文献紹介(翻訳)〉現在の歴史を生きた記憶として刻印する－アーカイブズ評価選別の新しい視点－	50	51

あとがき

本冊子、『続・データは語る—記録管理学会二十周年記念誌一』には、記録管理学会の2000年から2009年までの10年間のデータが収録されている。前回の『データは語る—記録管理学会10周年記念誌一』以来10年間のデータである。

本書の企画のねらいは、10周年記念誌の構成を踏襲しつつ、その後の10年間の特色を付加するところにおいた。ではその特色とはなにか。

この10周年から20周年に至る記録管理学会の10年間は、本会創設以来の懸案、文書管理法制の実現への道程と軌を一にするものであったといってもよい。特にこれを象徴する「データ」として、この間に発信した3つの社会的提言を収録した。

また、社会への発信ツールとして記録管理学会ホームページが設けられているので、これを「データ」として本誌に印刷形態により掲げた。機関誌『レコード・マネジメント』は国立情報学研究所のCiNiiシステムにより電子的なアクセスが確保されているが、そのアクセス手法については凡例並びに各章冒頭で説明を加えた。

時代は電子政府、ユビキタス社会へと移行している。この二十周年記念誌は紙媒体の冊子を印刷配布するとともに、近く電子媒体でホームページ上に掲示する。電子媒体の記録をどのように長期保存するのかという技術的な方策は、先端的な研究は進みつつあるようだ。だが、20周年記念事業の記念品としては紙媒体の方が好ましいということで2009年4月の学会理事会での意見一致を見た。本冊子の作成は、こうして決まったのである。願わくば、10周年記念誌同様、長く手元において役立てていただければ幸いである。

この記念誌作成は、2008年9月にたちあげた20周年記念事業プロジェクトチームが担当した。メンバーは石井幸雄（理事）、小川千代子（副会長、リーダー）、古賀崇（理事）、西川康男（理事）の4名であった。また、小谷允志（会長）、村岡正司（理事、ホームページ担当）、関野陽一（理事、事務局長）、朝日崇（理事、機関誌担当）、松本優（理事、ニュースレター担当）、黒済晃（理事、例会・大会担当）、櫻井史郎（監事）、中島めぐみ（監事）はじめ関係各位からの惜しみない協力を得た。

末筆ながら、10周年、20周年の2度にわたり筆者が記録管理学会記念誌の企画制作を担当する機会を与えられたことと共に、記して深甚の感謝を表します。

2009年5月

小川 千代子
(記録管理学会副会長)
(20周年記念事業担当)

各章のデータ収集担当者一覧 (*印は協力者、五十音順、敬称略)

第1章	西川 康男、小川 千代子*
第2章	古賀 崇、西川 康男*
第3章	古賀 崇、西川 康男*
第4章	村岡 正司
第5章	松本 優、黒濟 晃*
第6章	石井 幸雄
第7章	古賀 崇
第8章	古賀 崇
第9章	小川 千代子
第10章	石井 幸雄
第11章	石井 幸雄
第12章	小川 千代子、櫻井 史郎*、関野 陽一*、松本 優*
第13章	古賀 崇

ぞく かた きろくかんりがっかいにじゅうしゅうねんきねんし
続・データは語る —記録管理学会二十周年記念誌—

2009年5月29日 発行

編集責任者 小川千代子 (記録管理学会副会長、20周年記念事業担当)

発行者 記録管理学会

発行所 記録管理学会

事務局 関野陽一 (事務局長)

〒354-0015 埼玉県富士見市東みずほ台2-24-8

©Kiroku Kanri Gakkai, 2009

Compiled Printed in Tokyo, Japan

印刷所 佐藤印刷株式会社 03-3404-2561 info@sato-insatu.co.jp

